



SLX-D

ワイヤレスシステム

Shure SLX-D Digital Wireless system guide. Includes how to set up receiver, check sound and gain, and see groups and channels.
Version: 5.8 (2024-D)

Table of Contents

SLX-D ワイヤレスシステム	4	周波数のマニュアル選択	28
概要	4	ガイド付き周波数セットアップ	28
主な機能	4	2つの送信機を受信機にリンクする	29
システムの構成	4	マルチマイクロホンモード	30
SLX-D送信機	5	SLX-Dを他のShureワイヤレスシステムに追加する	31
SLXD4 / SLXD4D受信機	5	RF出力設定	31
SLXD5ボディパック受信機	6	送信機のRF出力を設定する	31
SLXD4のセットアップ	7	ネットワーク	32
SLXD5のセットアップ	8	ネットワークへの接続	32
SLXD4各部の名称	10	自動IPアドレス設定	32
SLXD5各部の名称	11	構成のヒント	32
受信機のメニューをナビゲートする	13	ネットワークトラブルシューティング	32
送信機	17	外部コントロールシステムに接続する	32
送信機のメニューオプション及びナビゲーション	20	ファームウェアアップデート	32
受信機コントロールのロックおよびロック解除	21	送信機のファームウェアアップデート	33
電池と充電器	22	ファームウェアリリース要件	33
マイクロホンの電池の装着	22	SLXD4受信機をラックに取り付ける	33
単三形乾電池の種類の決定	23	フットパッドの取り付け	35
Shure SB903充電電池	23	オプションのアクセサリ	35
Shure充電式電池の管理と保管に関する重要なヒント	26	仕様	39
平均充電/稼働時間	26	受信機音声出力コネクタ	50
サウンドチェックとゲイン調整	26	送信機音声入力コネクタ	52
SLXD4	27	周波数帯域および送信機出力	53
SLXD5	27	欧州諸国における周波数	54
システムインターフェース	27	重要な製品安全情報	55
オーディオチャンネルの構築	27	シンボルの説明	55
グループおよびチャンネルとは	27	安全のための重要注意事項	55
スキャンとIR同期	28	電池に関する製品安全情報	56
		充電器に関する製品安全情報および規制情報	57

重要な製品規制情報	57	電池に関する規制情報	60
EMCについて	57	認証	61
TV周波数帯域を利用するワイヤレス製品に関する規制情報	57	省エネ	61
環境に関する規制情報	60	認証およびコンプライアンス表示	61

SLX-D ワイヤレスシステム

概要

SLX-Dデジタルワイヤレスシステムは、クリアな音声と安定したRF性能を簡単なセットアップで提供し、管理性に優れた充電オプションも選択可能です。SLX-Dは、終日の会議からライブパフォーマンスまで、幅広い用途に対応します。

SLX-Dワイヤレス受信機にプログラムされたガイド付きセットアップ機能により、自動チャンネルスキャンおよび送信機との赤外線（IR）同期を簡単に行うことができます。イーサネットを介したサードパーティ制御とセットアップ、また複数システムのグループスキャンやファームウェアのアップデート管理ができます。44 MHz帯域幅につき最大32チャンネルの互換性を持つシステム構築が可能なRF性能を持ち（JB帯では最大10波）、2本の単三アルカリ乾電池で最大8時間の運用が可能です。またShure SB903リチウムイオン充電電池と充電器アクセサリも追加可能で、効率的な運用を提供します。SLX-Dワイヤレスシステムは、ハンドヘルド、ラベリア、およびヘッドセットマイクロホンが選択可能で幅広いアプリケーションに対応し、118 dBを超えるダイナミックレンジと安定したRFパフォーマンスを提供します。

主な機能

- 透明な24-bitデジタルオーディオ
- 20 Hz～20 kHzワイドレンジな周波数特性（マイクロホンタイプにより異なる）
- 118 dBのダイナミックレンジ
- デジタル予測式スイッチングダイバーシティを搭載
- 44 MHzのチューニング帯域幅（地域、モデルにより異なる）
- 44 MHz帯域幅で32チャンネルの運用が可能（地域、モデルにより異なる）
- TVチャンネル6 MHz幅につき最大10チャンネル、8 MHz幅につき最大12チャンネル運用可能
- 赤外線（IR）スキャン、シンク機能により、送信機と受信機の素早いペアリングが可能
- 自動チャンネルスキャン
- イーサネットポートを介し、複数の受信機をリンクしたグループスキャンに対応、またファームウェアアップデートが可能
- Shure Wireless Workbench®コントロールソフトウェアに対応
- ShurePlus™ Channelsアプリを介したリモートによるモニタリングと制御
- イーサネットを介したサードパーティ制御とセットアップ
- 高コントラストLCDメニューを搭載した、洗練されたインターフェース
- SLX-D受信機にインストールされたガイド付き周波数セットアップモード
- 送信機は単3形乾電池2本またはShure SB903充電電池に対応
- システム構成品には、マイクロホンカプセルが交換可能なハンドヘルド型送信機、各種ラベリアマイクロホンに対応するボディパック型送信機、ヘッドセットマイクロホン、楽器用マイクロホン、シングルおよびデュアルチャンネルともにラックマウントに対応する受信機が含まれます。

システムの構成

SLX-Dシステムは、ユーザー固有のニーズを満たすために、送信機、受信機、マイクロホンの複数の構成で利用可能です。利用可能なシステム構成の一覧を確認するには、[shure.com](https://www.shure.com)にアクセスするか、各地の営業担当者にお問い合わせください。

SLX-D送信機

①

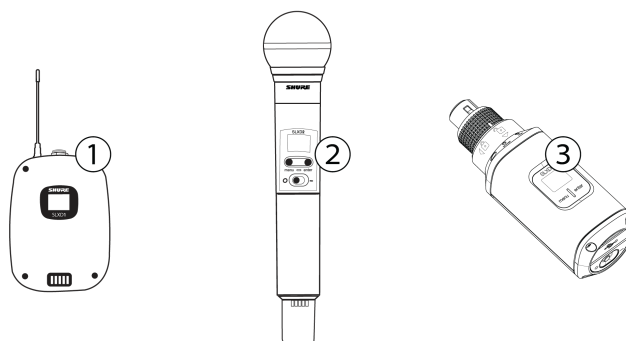
SLXD1ボディパック (BP) 型送信機

②

SLXD2ハンドヘルド (HH) 型送信機

③

SLXD3プラグオン (PO) 送信機



SLXD4 / SLXD4D受信機

①

ラックマウント金具

②

1/4波長アンテナ (2本)

③

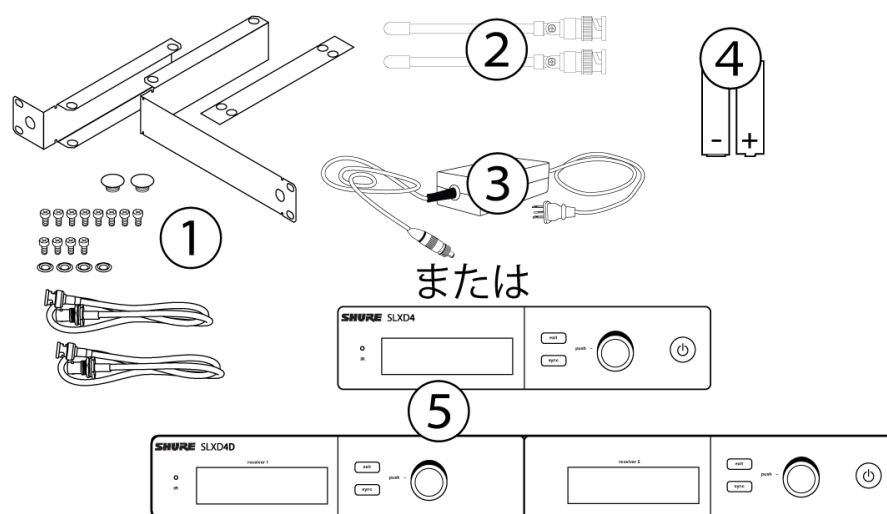
電源アダプター

④

単3形乾電池 (2本)

⑤

SLXD4またはSLXD4D受信機



SLXD5 ボディパック受信機

①

SLXD5 ポータブル受信機

②

3.5 mm-to-XLR ケーブル (18 インチ) のロック

③

3.5 mm オーディオ延長ケーブル (16 インチ) のロック

④

単3形乾電池 (2本)

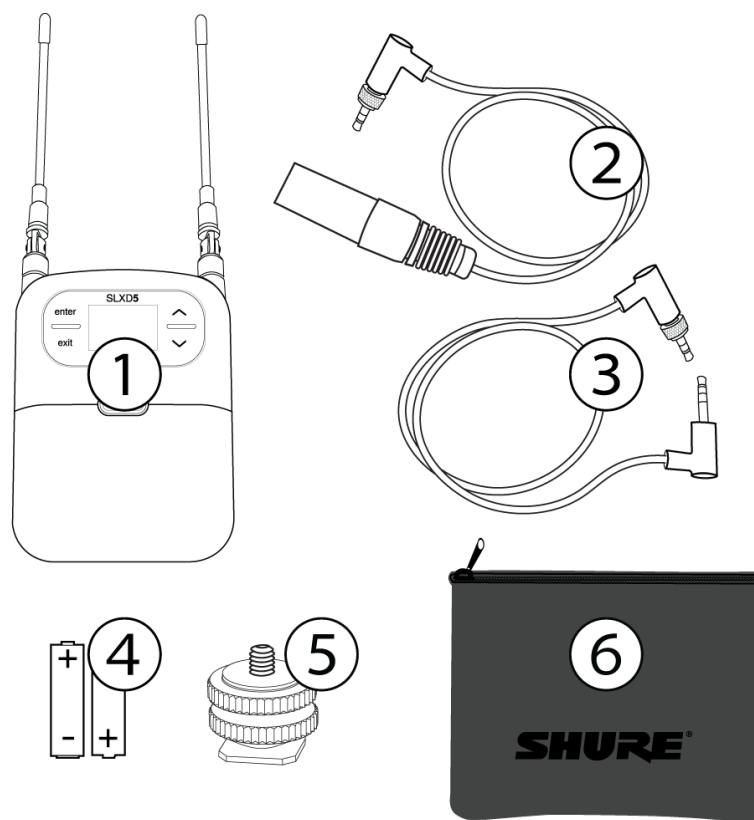
⑤

標準の 1/4 インチねじ式非導電性カメラシューアダプター

注: グランドループノイズを防ぐためにこのアダプターを使用してください

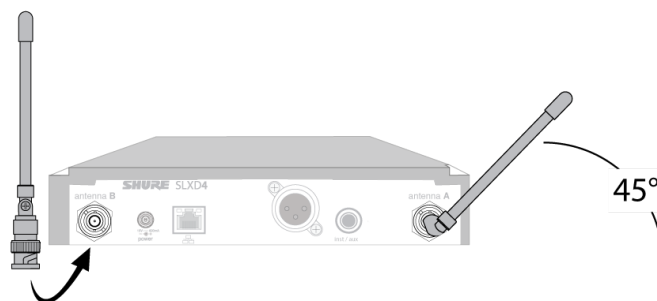
⑥

ジッパー付きビニール袋 (黒)

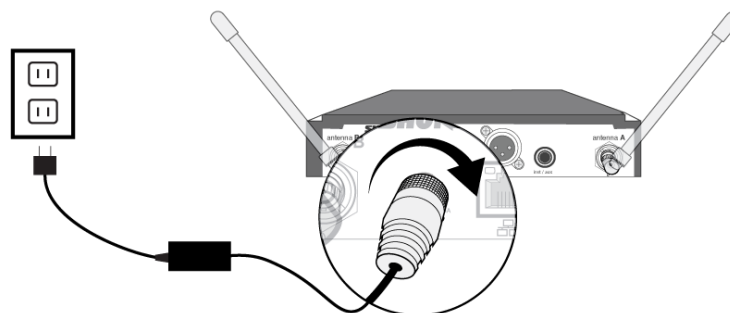


SLXD4のセットアップ

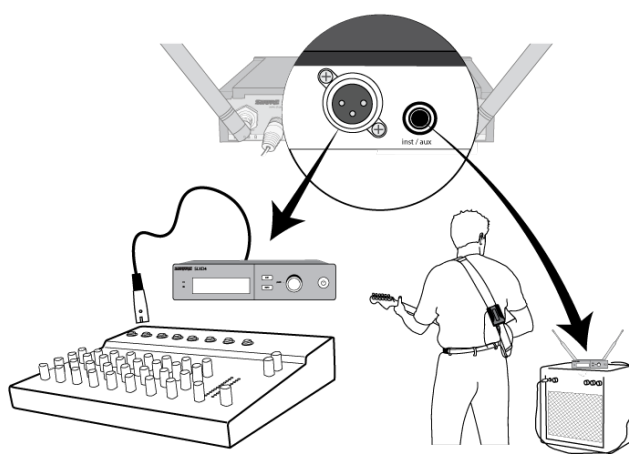
1. 付属のアンテナを受信機の背面に取り付けます。



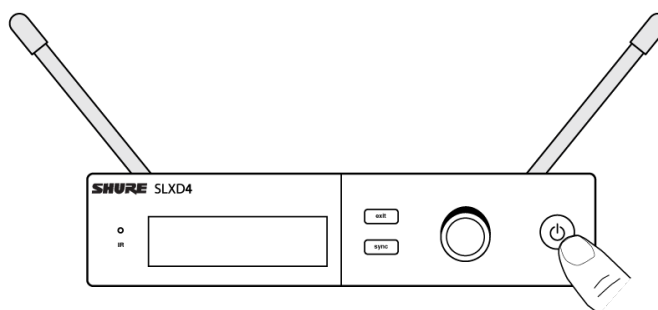
2. 電源アダプターを受信機に接続し、AC電源コードをACコンセントに挿します。



3. 音声出力をアンプまたはミキサーに接続します。

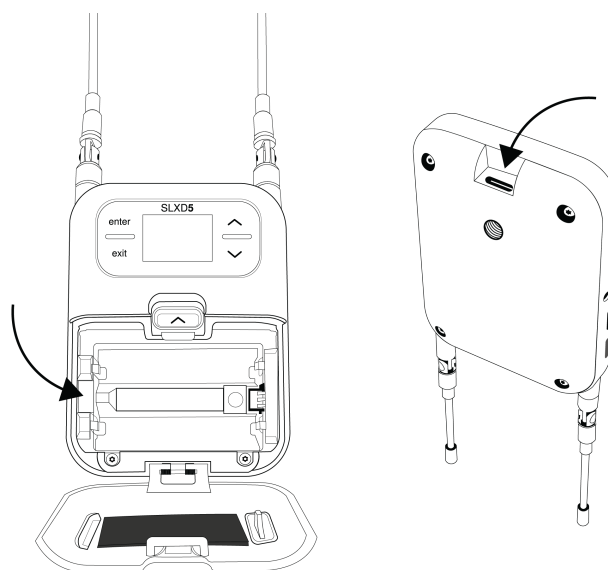


4. 受信機の電源ボタンを押します。受信機メニューから、マイク出力 (mic) またはライン出力 (line) を接続する機器に応じて適切に設定します。



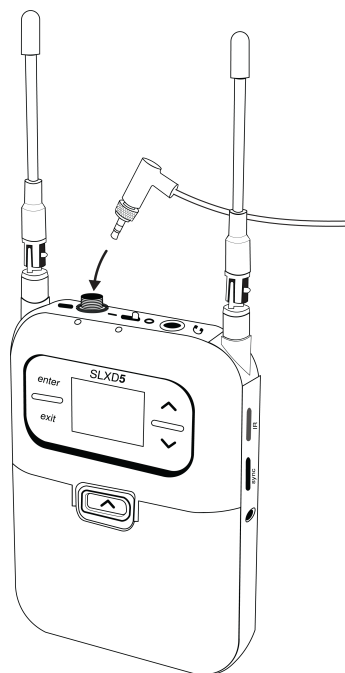
SLXD5のセットアップ

1. 電源スイッチを [O] (オフ) 位置にして、電池を挿入するか、下部のUSB-Cポートを適切な電源に接続します。

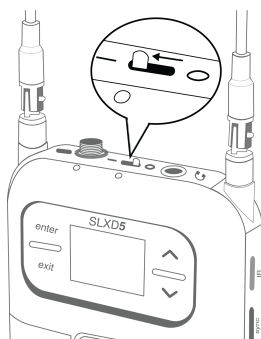


2. 音声出力をカメラやレコーダーに接続します。

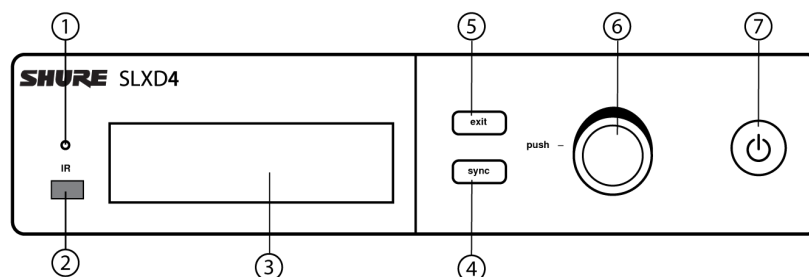
注：受信機のメニューで、3.5 mmデバイスの場合は *Dual Mono* に、XLRデバイスの場合は *Balanced (Mono)* に [音声出力] を設定します。



3. スイッチを押して [I] (オン) 位置にすると、電源がオンになります。受信機メニューから、マイク出力 (mic) またはライン出力 (line) を接続する機器に応じて適切に設定します。



SLXD4各部の名称



① 赤外線同期LED

- 。点滅：赤外線（IR）同期モードが使用可能
- 。点灯：赤外線（IR）同期のため受信機と送信機の位置が適切に向き合っています。

② IRポート

IR同期中に送信機のIRポートに向き合わせて、送信機と設定を同期します。

③ ディスプレイ

メニューオプション、受信機と送信機の設定を表示します。

④ 同期ボタン

押すと赤外線（IR）同期を実行します。

⑤ 終了ボタン

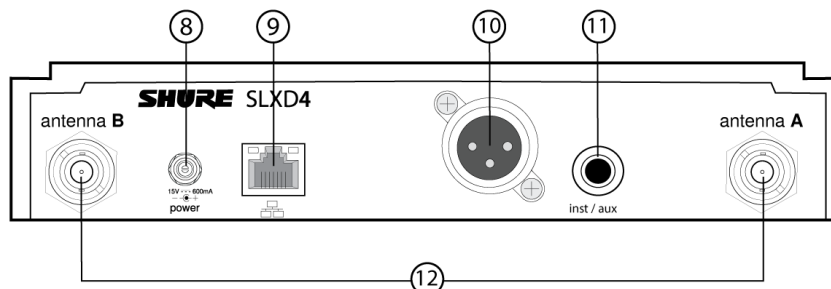
押すと現在の操作をキャンセルします。

⑥ コントロールノブ

メニューパラメーターを変更します。変更を確定するには、ノブを押します。

⑦ 電源ボタン

受信機の電源をオンまたはオフにします。



⑧ 電源ポート

DC電源プラグを挿し込みます。

⑨ イーサネットポート

ネットワークに接続します。

- 。 オレンジLED（ネットワーク速度）：

オフ = 10 Mbps、オン = 100 Mbps

- 。 緑色LED（ネットワークステータス）：

オフ = ネットワーク接続なし、オン = ネットワーク接続中

点滅 = データ量に応じて速さが変化します

⑩ XLRオーディオ出力

バランス（1: グランド 2: オーディオ + 3: オーディオ -）

⑪ 1/4インチ楽器/補助出力

インピーダンスバランス（チップ：オーディオ+、リング：オーディオ-、スリーブ：アース）

⑫ アンテナコネクター

受信機アンテナ接続用のBNCコネクターです。

SLXD5各部の名称

① アンテナ

デュアル一体型1/4波長受信機アンテナ

② 1/8インチ（3.5 mm）カメラ音声出力

Balanced (Mono) 出力モードと Dual Mono 出力モードを利用可能

③ 電源スイッチ

受信機の電源をオンまたはオフにします。

④ 1/8インチ（3.5 mm）ヘッドホン出力

ヘッドホンモニタリング出力

⑤ RF LED

- 青：ペアリングされたShure SLX-D送信機からRF信号を受信する

⑥ 電源LED

- 緑色：使用可能
- 赤色：電池残量低下
- 黄色：

点滅状態 = 充電中

点灯 = エラーまたはユニットが外部電源によって電力供給されている

⑦ Enter ボタン

押すと現在の選択対象が確定されます。

⑧ 終了ボタン

押すと現在の操作をキャンセルします。

⑨ ディスプレイ

メニューオプション、受信機と送信機の設定を表示します。

⑩ 上/下ボタン

メニューパラメーターを変更します。[デバイス>]、[ボタンコントロール] メニューの順に移動すると、音量コントロールとして設定できます。

⑪ 電池カバーのラッチ

押すと、電池コンパートメントが開きます。

⑫ IRウィンドウ

IR同期中に送信機のIRポートに向き合わせて、送信機と設定を同期します。マルチマイクロホンモードを使って、周波数リストを他のポータブル受信機に送信します。

⑬ 同期ボタン

押すと赤外線 (IR) 同期を実行します。

⑭ ベルトクリップの取り付け穴

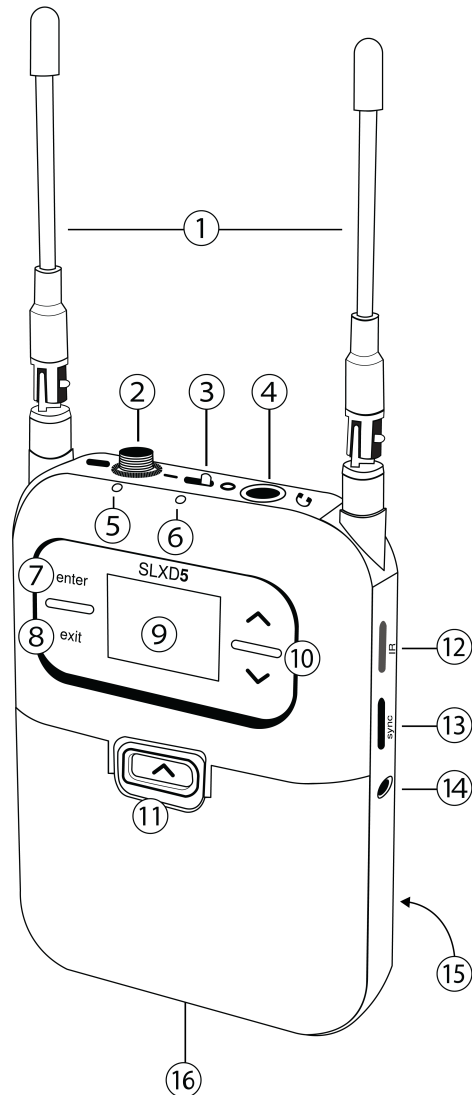
ベルトクリップの端子を挿入して取り付けます。クリップをフロントパネルに向けて押すと、取り外せます。

⑮ 三脚コネクタ

付属の非導電性カメラシューアダプターまたは三脚の取り付けに使用する標準の1/4インチ内ねじ式コネクタ。

⑯ USB-Cポート

USB-Cケーブルを接続して、ファームウェアの電源をオンにしたり、ファームウェアの充電や更新を行ったりします。



受信機のメニューをナビゲートする

メインメニューから受信機のセットアップと設定を行い、詳細メニューからその他の機能にアクセスします。メニュー画面をナビゲートして選択を確定するには、コントロールノブを使用します。前のメニューに戻るには、[exit] ボタンを使用します。

SLXD4 メニューと構成

メニューにアクセスするにはコントロールノブボタンを押し、次のメニュー画面に進むには回転させます。

1. Frequency Setup	1.1 Guided Frequency Setup	新しいシステムを初期化する、または既存のシステムに受信機を追加するための手順を指示します。
--------------------	----------------------------	---

	1.2 Group Scan	受信機は自動スキャンを実行して利用可能な最良のグループを検索します。 注：各地域に対応する一部の周波数帯域は単一グループのみで構成されています。対応するグループが単一グループのみの場合でも複数グループ対応の場合でも、RFパフォーマンスは同じです。
	1.3 Channel Scan	受信機が、選択されたグループ内の使用可能なチャンネルを自動的にスキャンします。
	1.4 Manual Frequency Setup	受信機を任意の周波数に手動で設定します。
2. Channel Name	チャンネル名をカスタマイズします。	
3. Gain	受信機のゲインを調整して適切な出力レベルを設定します。	
4. Mic/Line Level	出力レベルをMic/Lineレベルに切り替えます。	
5. Advanced Settings	5.1 Device Lock	• Unlock：受信機のロックが解除されます。 • Lock Menu：受信機の設定がロックされます。 • Lock Menu & Power：受信機の設定と電源ボタンがロックされます。
	5.2 Network Configuration	IPアドレスの設定をオートかマニュアルに切り替えます。
	5.3 Controller Access	サードパーティ製コントロールのアクセスをブロックまたは許可します。
	5.4 Transmitter Preset	送信機プリセットを適用して同期します。
	5.5 Device Preset	現在の受信機設定を保存するか、最後に保存した設定を復元します。
	5.6 Factory Reset	システムを再起動して、すべての設定を工場出荷時設定に復元します。
	5.7 Transmitter Firmware	赤外線（IR）同期を使用して送信機のファームウェアをアップデートします。
	5.8 About	ファームウェアのバージョン情報とシリアル番号を表示します。
6. Help	追加資料（ http://help.shure.com/slxd4 ）へのリンクを提供します。	

SLXD5 メニューと構成

ホーム画面から、[実行] を押してメニューオプションを表示します。矢印キーを使用してオプションを順に切り替え、[実行] を押して選択した内容を確認するか、[終了] を押して前の画面に戻ります。

周波数	Channel Scan 矢印キーは必要に応じて選択したグループを変更し、[実行] は選択したグループ内で利用可能なチャンネルの自動スキャンを実行します Group Scan 受信機は、該当する場合、利用可能なチャンネルが最も多いグループを自動的にスキャンします。矢印キーは必要に応じてグループを変更し、[実行] は選択したグループを受け入れます。 <i>注：各地域に対応する一部の周波数帯域は単一グループのみで構成されています。対応するグループが単一グループのみの場合でも複数グループ対応の場合でも、RFパフォーマンスは同じです。</i> 手動設定 受信機を任意の周波数に手動で設定します。
オーディオ出力	オーディオ出力 XLRデバイスの場合は [バランス (モノ)]、3.5 mmデバイスの場合は [デュアルモノ] を選択し、ゲインを調節します ヘッドホン ヘッドホンゲインの調整 マイク/ライン 出力レベルをMic/Lineレベルに切り替えます。
チャンネル名	チャンネル名をカスタマイズします。
デバイス	デバイスロック ◦ Unlock：受信機のロックが解除されます。 ◦ Menu Only：受信機の設定がロックされます。 ◦ Menu & Power：受信機の設定と電源ボタンがロックされます。 デバイスプリセット 現在の受信機設定を保存するか、最後に保存した設定を復元します。 Battery バッテリー残量を正確に表示するため、使用している単3形乾電池と同じになるよう電池の種類を設定します。

	注：Shure充電電池を使用している場合はメニューを選択できません。 ボタンコントロール ホーム画面から上/下ボタンの機能を決定します： ◦ [オーディオ出力]：音声出力ゲインを変更します ◦ [ヘッドホン]：ヘッドホン音量を変更します Display OLEDディスプレイのタイムアウトを設定します Tone Generator (トーンジェネレーター) 連続するテストトーンをオンまたはオフにし、音量をdB単位で設定します 出荷時設定にリセット システムを再起動して、すべての設定を工場出荷時設定に復元します。 バージョン情報 ファームウェアのバージョン情報とシリアル番号を表示します。
TX (送信機設定)	Txプリセット 送信機プリセットを適用して同期します： ◦ [マイクオフセット]：コンボシステムで使用される送信機間のオーディオレベルを一致させます。調整範囲は0～21dBまでです (3 dBステップ) ◦ [SLXD3パッド/ブースト]：パッドを調整して音声入力のアオーバーロードを回避したり、低出力ソースにブーストを追加したりします： -12 dB：ラインレベルやポイントツーポイント用途などの高出力ソースで使用します。 - オフ(デフォルト)：通常のマイクロホンで使用します。 +12 dB：低出力ソースで使用します。 ◦ [RF電力]：RF電力の設定を選択します： [HH/BP]： - Low = 1 mW - High = 10 mW - 変更なし [SLXD3 PO]： - Low = 1 mW [通常] = 10 mW [高] = 30 mW - 変更なし ◦ [自動ロック]：送信機の自動ロックを [オン] または [オフ] にします ◦ [ロックタイプ]：自動ロックの動作を決定します： - Menu Only：メニューをロックして、送信機の設定が変更されないようにします。 - Menu & Power：メニューと電源をロックして、電源スイッチを無効にします。 ◦ [バッテリータイプ]：バッテリー残量を正確に表示するため、使用している単三電池と同じ電池の種類を設定します。

	注：Shure充電電池を使用している場合はメニューを選択できません ◦ ［ハイパス］：ハイパスフィルターを［オン］または［オフ］にします ◦ ［ファンタム］：コンデンサーマイクロホン用のファンタム電源を供給します（SLXD3のみ）。マイクロホンの要件に応じて+12 Vまたは+48 Vを選択します。 Txファームウェア 赤外線（IR）同期を使用して送信機のファームウェアをアップデートします。 Tx出荷時設定にリセット 送信機を再起動して、すべての設定を工場出荷時設定に戻します
マルチマイクロホンモード	モード/リストの切り替え マルチマイクロホンモードに切り替え、既存のリストを表示します ◦ リスト項目を選択して［実行］を押すと、名前の変更、ゲインの設定、またはその項目の削除ができます ◦ ［同期］ ボタンを押して、選択した周波数を送信機にIR同期します リストの作成 グループスキャンを開始して利用可能な周波数を決定し、その周波数から新しいリストを作成します リストの共有 IR同期を使用して、既存のマルチマイクロホンモードリストを別のSLXD5にコピーします リストを削除 すべてのリスト項目を消去します
ヘルプ	追加資料へのQRコードリンクを提供します

送信機

① 電源LED

- 緑 = ユニットの電源がオン
- 赤 = 電池残量低下

② オン/オフスイッチ

送信機の電源をオン/オフします。

③ ディスプレイ

メニュー画面と設定を表示します。コントロールボタンのどちらかを押すとディスプレイが起動します。

④ IRポート

受信機のIRポートに向かい合わせて赤外線（IR）同期を行い、受信機と設定を同期します。

⑤ メニューナビゲーションボタン

menu = メニュー画面をナビゲートします。

enter = パラメーターの変更を確定し保存します。

⑥ 電池コンパートメント

単3形乾電池2本またはShure SB903充電電池を装填します。

⑦ 電池カバー

使用中に電池コンパートメントを保護します。

⑧ ボディパックアンテナ

RF信号を送信します。

⑨ ハンドヘルド型一体型アンテナ

RF信号を送信します。

⑩ マイクロホンカートリッジ

各種Shureマイクロホンカートリッジと互換性があります。

⑪ TA4M入力ポート

4ピンミニコネクタ（TA4F）付きマイクロホン、または楽器用ケーブルを接続します。

⑫ XLRコネクタのロック

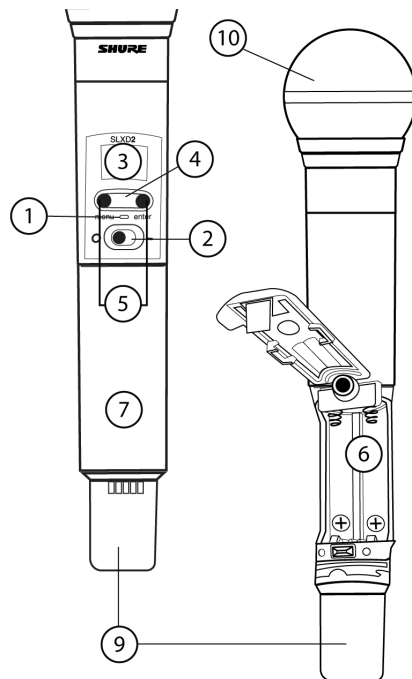
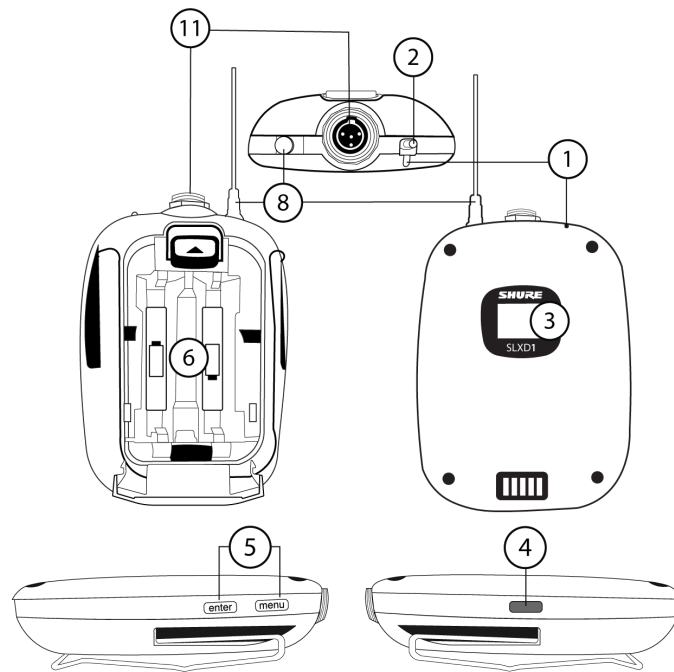
有線マイクロホン、ケーブル、ブームポールなどの接続ポイントです。XLRコネクタを外すには、リングを反時計回りに回し、押します。

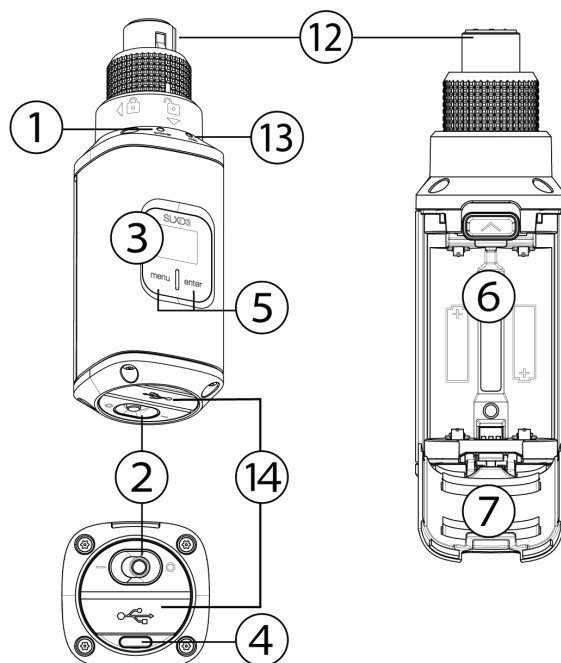
⑬ マイクロホンLED

受信機の状態に関係なく、接続されたマイクロホンからの音声入力を示します。

⑭ USB-Cポート

USB-Cケーブルを接続し、電源を入れるか送信機を充電します。





送信機のメニューオプション及びナビゲーション

送信機には送信機の設定と調節用にメニュー画面が備わっています。ホーム画面からメニューオプションにアクセスするにはmenuボタンを押します。menuボタンを押すごとに次のメニュー画面が表示されます。メニュー画面から各設定を選択して変更を確定するには、[enter] ボタンを使用します。

ホーム画面	enterボタンを使用して以下のホーム画面ディスプレイ表示から1つを選択します。 • チャンネル名/グループおよびチャンネル/電池アイコン • チャンネル名/周波数/電池アイコン • チャンネル名/電池アイコン/グループおよびチャンネル • チャンネル名/電池アイコン
マイクオフセット	受信機の同一チャンネルで2つの送信機を使用する際に、2つの送信機間のオーディオレベルを合わせるために調整します。調整範囲は0~21dBまでです (3 dBステップ)
RF出力	RF出力レベルを目的に応じて選択します： • 1 mW • 10 • 30 mW* * SLXD3のみ
ハイパス	ハイパスフィルターを [オン] または [オフ] にします。
電池	バッテリー残量を正確に表示するため、使用している単3形乾電池と同じになるよう電池の種類を設定します。

	注：Shure充電電池を使用している場合はメニューを選択できません。
自動ロック	送信機の自動ロックをオンまたはオフにします。
ロックタイプ	自動ロックの動作を決定します。 - Menu Only：メニューをロックして、送信機の設定が変更されないようにします。 - Menu & Power：メニューと電源をロックして、電源スイッチを無効にします。
ファンタム電源*	ファンタム電源設定を選択します： - オフ（デフォルト設定） +12 V +48 V * SLXD3のみ
パッド/ブースト*	入力パッドまたはブーストを選択し、音声入力のオーバーロードを回避したり低出力オーディオソースを増加させたりします： - オフ（デフォルト設定） - パッド：-12 dB - ブースト：+12 dB * SLXD3のみ
About	ファームウェア、ハードウェア、および帯域情報を表示します。

受信機コントロールのロックおよびロック解除

[5. Advanced Settings] > [5.1 Device Lock] では、以下のコントロールロックオプションにアクセスできます。

- Unlock：受信機のロックを解除します
- Lock Menu：メニュー項目にアクセスできなくなります（受信機の電源は切ることができます）
- Lock Menu & Power：電源スイッチとメニューコントロールを無効にします

希望するオプションを選択し、コントロールノブを押して確定します。

送信機の自動ロック

送信機の [Auto Lock] メニューから [On]（ロック）または [Off]（ロック解除）を選択すると、送信機のコントロールをロックまたはロック解除できます。自動ロックを有効にすると、ホーム画面に戻ったときに送信機のコントロールがロックされます。

注：[enter] ボタンは、ロックされた送信機のホーム画面表示を変更するために引き続き使用できます。

自動ロックを有効にするには：

- [menu] ボタンを押して、[Auto Lock] 設定にナビゲートします。
- [enter] ボタンを使用して編集し、[menu] ボタンを使用して [On] を選択します。
- enterを押して保存します。ロックアイコンが表示され、コントロールのロックが有効であることを確認します。

送信機のロックを解除して自動ロックを無効にするには：

- [enter] を押してから [menu] を押し、送信機のコントロールのロックを解除します。

2. [Auto Lock] 設定にナビゲートし、[Off] を選択します。
3. enterを押して保存します。ホーム画面に戻ると、送信機のロックは無効になります。

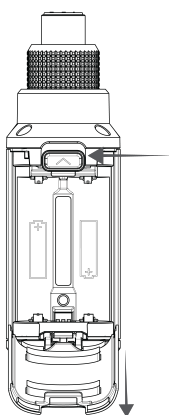
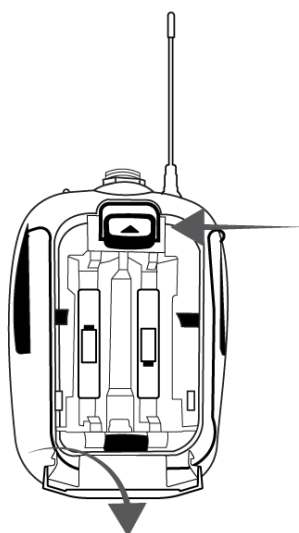
電池と充電器

マイクロホンの電池の装着

重要：送信機の破損を避けるために、Shure SB903リチウムイオン充電電池または1.5 Vの単三形乾電池のみを使用してください。

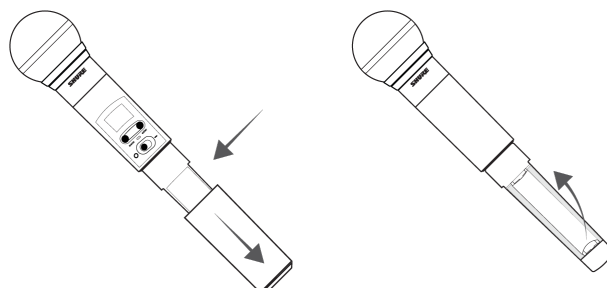
ボディパック型/プラグオン：

1. タブを押し上げて、電池ボックスのドアを開けます。
2. Shure SB903リチウムイオン充電電池 または 単三形乾電池2本をコンパートメント内に装着します。
3. バッテリードアを閉じます。



ハンドヘルド型送信機：

1. 電池カバーを回して外します。
2. バッテリードアを持ち上げて、電池ボックスを開けます。
3. Shure SB903リチウムイオン充電電池 または 単三形乾電池2本をコンパートメント内に装着します。
4. 電池カバーを元通りに取り付けます。



単三形乾電池の種類の決定

送信機の動作時間を正確に表示するため、装填している単三電池の種類（デフォルト設定はアルカリ乾電池）に合わせて、送信機メニューから電池タイプを設定します。Shure充電電池を使用する場合、電池タイプの設定は必要ないため電池タイプメニューは表示されません。

1. [menu] ボタンを押して、[Battery] 画面にナビゲートします。
2. [enter] を押してから [menu] ボタンを押して、装填した電池タイプを選択します：
 - Alkaline = アルカリ
 - NiMH（ニッケル水素電池）
 - リチウム（非充電式、最大1.5 V）
3. enterを押して設定を保存します。

Shure SB903充電電池

SB903リチウムイオン充電電池はSLX-D送信機専用の充電電池になります。SB903リチウムイオン充電電池の充電には、SBC10-903シングルベイまたはSBC203デュアルベイ充電器を使用します。

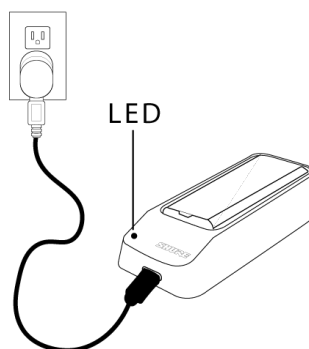
重要：新しい電池を初めて使用する際は必ずフル充電を行ってください。

新しいSB903電池をフル充電するには、充電器に直接配置する必要があります。最初に一度充電したら、SBC203デュアルベイ充電ステーションに充電電池を装填した送信機をドッキングして充電することもできます。

シングルベイ充電器

SBC10-903シングルベイ充電器はコンパクトな充電ソリューションを提供します。

1. 充電器をAC電源またはUSBポートに繋がします。
2. 充電ベイに電池を挿入します。
3. 充電が完了するまで、充電ステータスLEDsを監視します。

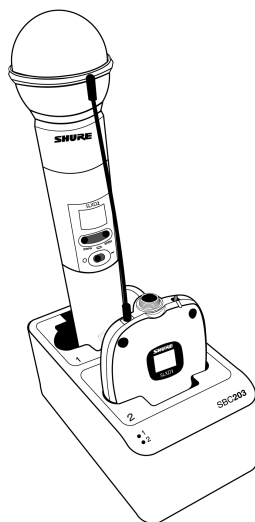


充電ステータスLED

充電電池の状態	色	ステータス
使用可能	緑（点灯）	充電完了
充電中	赤（点滅）	充電中
エラー	黄色（速い点滅）	充電電池または電源のエラー
充電されていない	オフ	充電器の電源が切断されているか、充電ベイにドッキングされていない

デュアルベイ充電器

SBC203デュアルベイ充電器は充電電池単体、または送信機に装填された状態の充電電池を充電可能です。



1. 充電器をAC電源に接続します。
2. 充電ベイに充電電池、または充電電池を装填した送信機を挿入します。

重要：破損を避けるために、送信機は前を向くように差し込んでください。

3. 充電が完了するまで、充電ステータスLEDsを監視します。

充電ステータスLED

充電電池の状態	色	ステータス
使用可能	緑（点灯）	充電完了
充電中	赤（点滅）	充電中
エラー	黄色（速い点滅）	充電電池または電源のエラー*
	黄色（ゆっくり点滅）	動作温度範囲外
充電されていない	オフ	充電器の電源が切断されているか、デバイスが充電ベイにドッキングされていない

*送信機が充電ベイにドッキングされているときにエラーが発生した場合、送信機から電池を取り外して充電器に直接差し込んでください。エラーが解決されない場合は、Shureテクニカルサポートにお問い合わせください。

SLXD5用SBC-DC-903 DCアダプターバッテリーエリミネーター

SBC-DC-903は、SLXD5ボディパック受信機でSB903電池の代わりとなる電圧アダプターです。特定の出力に合わせてコネクタをカスタム配線することができます。付属のバッテリードアとの交換により、電源ケーブル用の開口部を確保します。

SBC80-903充電器

SBC80-903クレードル充電器は、SB903電池8本を収容し、ラックマウント用引き出しに収まるサイズになっています。この充電器は十分なスペースと換気のある場所で使用してください。

電源

1. DC電源ケーブルを充電器背面の入力ジャックに接続します。
2. 指でロックナットを締めて固定します。
3. 電源ケーブルをACアダプターに接続します。

警告：

- ロックナットを締めるのにプライヤー等の工具は使わないでください。DC電源ケーブルは充電器ユニットを据え付ける前に取り付けてください。
- DCケーブルを充電器につなぐ前に、ACアダプターを電源に接続しないでください。
- 充電器の準備が完了した後で、電源ケーブルを正しくアース接続されたコンセントに接続して下さい。

SBC80-903には電源スイッチがありません。電源に差し込むと、充電器が使用できる状態になります。電池を挿入するとLEDが点灯します。

充電ステータスLED

充電するには、電池の溝がある側を下にして充電ベイに挿入します。LEDが点灯して電池ステータスを示します。

充電ステータスLED

充電電池の状態	色	ステータス
使用可能	緑（点灯）	充電完了
充電中	赤（点滅）	充電中
エラー	黄色（速い点滅）	充電電池または電源のエラー

充電電池の状態	色	ステータス
	黄色（ゆっくり点滅）	動作温度範囲外
充電されていない	Off	充電器の電源が切断されているか、電池が充電ペイに挿入されていない

Shure充電式電池の管理と保管に関する重要なヒント

Shure充電電池を適切に管理し保管することで高い信頼性と長い寿命を保持することができます。

- 充電電池と送信機は常に常温で保管してください。
- 充電電池を長期的に保管する場合は、最大容量の約40%に充電または放電してから保管してください。
- 長期保管中は、6ヶ月毎に充電電池の状態を確認して必要に応じて最大容量の40%に再充電してください。

平均充電/稼働時間

SBC10-903

充電時間	稼働時間	容量
1時間	1時間	15%
3時間	4時間	50%
5時間30分	>8 時間	100%

SBC203

充電時間	稼働時間	容量
30分	1時間	15%
1時間15分	4時間	50%
2時間30分	>8 時間	100%

SBC80-903

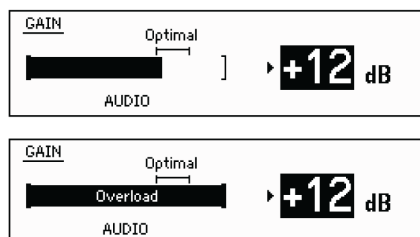
充電時間	稼働時間	容量
30分	1時間	15%
1時間15分	4時間	50%
2時間30分	>8 時間	100%

*上記データはバッテリーヘルス値が100%の場合に基づくおおよその時間です

サウンドチェックとゲイン調整

SLXD4

受信機の [Gain] メニューを選択し、実際の送信機を使用しながらパフォーマンスレベルでサウンドチェックを行ってください。ゲインを調整して、オーディオインジケータを [Optimal] の範囲内に収まるよう維持します。音声出力をチェックして歪み等が発生する場合はゲインを下げてください。



SLXD5

[音声出力 >]、[Mic/Line] の順に移動して、ご使用の受信機での全体的な出力レベルを選択します。それぞれのメニュー画面から、[音声出力] および [ヘッドホン] 出力のゲインを個別に設定します。

システムインターフェース

オーディオチャンネルの構築

ワイヤレスオーディオチャンネルは、受信機と送信機を同じ周波数に設定することで形成されます。SLX-Dの周波数セットアップでは、受信機と送信機を同じ周波数に合わせるための3つの方法が利用できます：

- **グループとチャンネルスキャン**：受信機は利用可能な最良の周波数を見つけるためにRFスペクトラムスキャンを実行し、赤外線 (IR) 同期を行うことで、安全な周波数が送信機と同期されます。
- **マニュアル設定によるグループ、チャンネル、または周波数の選択**：受信機と送信機を同じグループチャンネル、チャンネル番号、または周波数に手動で設定します。
- **SLXD4ガイド付き周波数セットアップ**：プロセスを順を追って行うステップバイステップガイドです

重要！ スキャンまたは周波数の割り当てを開始する前に：

- イーサネットケーブルを使用して、システム内のすべての受信機を接続します。最良の結果を得るために、3台以上の受信機を接続する場合は、ネットワークスイッチを介して各受信機を接続してください。
- 周波数スキャンへの干渉を防止するために、セットアップしているシステム用の送信機をすべてオフにしてください。
- 他のワイヤレスシステム、コンピューター、CDプレーヤー、大型LEDパネル、エフェクトプロセッサなど、干渉を引き起こす可能性のある他のデバイスの電源をオンにしてください。これにより、デバイスによって生じる干渉をスキャンで検出して回避できます。

グループおよびチャンネルとは

Shureワイヤレスシステムでは、電波干渉を最小限に抑えるために事前に設定された**グループ**と**チャンネル**を本体にプリセットしています。グループとは、対応している周波数帯域内で互換性を持つ周波数の組み合わせをグループ化したものです。チャンネルとは、そのグループ内の1つの周波数を意味します。受信機と送信機を同じグループ内の使用可能な最良のチャンネルに設定してシステムをセットアップしてください。

注：同じ帯域内で複数の受信機を使用する場合は、同じグループに設定する必要があります。グループは対応している周波数帯域モデルによって異なるため、国と地域により複数のグループを持たないシステムもありますが、各グループの周波数の組み合わせは、それぞれ同じRFパフォーマンスを提供します。

スキャンとIR同期

グループスキャンは、各グループの利用可能なチャンネル数を識別し、選択したグループ内の利用可能なチャンネルを自動的に割り当てます。新しいチャンネルを探したい場合、またはマニュアルで周波数を選択する方法を利用している場合は、チャンネルスキャンを実行します（「[周波数のマニュアル選択](#)」を参照）。

グループスキャンを実行するには：

1. システム内で使用するすべての送信機の電源をオフにして、[周波数 >]、[グループスキャン] の順に選択します。
2. 利用可能なチャンネルが最も多いグループが表示されます。矢印ボタンを使ってグループ数を変更し、各グループで利用可能なチャンネルを表示します。
3. [Enter] ボタンを押して、画面に表示されているグループとチャンネルに対して受信機を設定します。

チャンネルスキャンを実行するには：

1. システムで使用するすべての送信機の電源をオフにして、[周波数 >]、[チャンネルスキャン] の順に選択します。
2. 矢印ボタンを使って、受信機で使用するグループを選択します。このグループは、同一の周波数帯域における他の受信機で使用するグループと同じである必要があります。
3. [Enter] ボタンを押して、チャンネルスキャンを開始します。
4. 選択したチャンネルを [Enter] で確定するか、矢印ボタンを使って、他の利用可能なチャンネルを表示します。

適切なスキャンの実行後、この受信機で使用する送信機の電源をオンにし、送信機と受信機で赤外線（IR）ポートの位置を合わせて、[sync] ボタンを押します。

周波数のマニュアル選択

手動でグループ、チャンネル、周波数を調整するには：

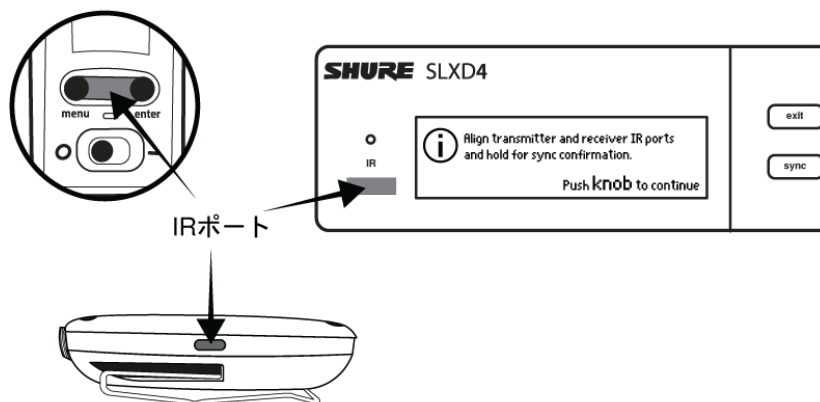
1. 受信機で [手動の周波数セットアップ] 画面に移動し、必要に応じてグループ（G）、チャンネル（C）、周波数（MHz）を選択および調整します。
2. [適用] を選択して確定し、設定を保存します。
3. 送信機と受信機の赤外線（IR）ポート位置を合わせ、[sync] ボタンを押します。

ガイド付き周波数セットアップ

SLXD4およびSLXD4Dシステムには、グループスキャンとチャンネルスキャンのプロセスについて案内するガイド付き周波数セットアップが含まれています。

新しいSLXD4またはSLXD4Dシステムを設定するには：

1. [Initialize My System] システムを初期化を選択し、コントロールノブを押して続行します。
2. システムで使用するすべての送信機の電源をオフにして、[スキャンを開始] を選択します。
3. スキャンが完了したら、コントロールノブを押して受信機に周波数を割り当てます。
4. この受信機で使用する送信機の電源を入れます。
5. 送信機と受信機の赤外線（IR）ポート位置を合わせ、[sync] ボタンを押します。



新しいSLXDまたはSLXD4D受信機をシステムに追加するには：

1. [Add Receiver to My System] 受信機の追加を選択します。
2. グループを変更するには、コントロールノブを回して、[G:] を選択します。グループ番号を選択し、回してグループ番号を変更したら、もう一度押して確定します。
3. [start scan] を選択します。
4. スキャンが完了したら、コントロールノブを押して受信機チャンネルを適用します。
5. この受信機で使用する送信機の電源を入れます。
6. 送信機と受信機の赤外線 (IR) ポート位置を合わせ、[sync] ボタンを押します。

2つの送信機を受信機にリンクする

2台の送信機を同じ受信機チャンネルにリンクすることでパフォーマンスは好みに応じてハンドヘルド、またはボディパック型送信機を選択して使用することができます。2つの楽器を変更しながらの運用が必要となるパフォーマンスについても、2台のボディパック型送信機を同じ受信機チャンネルにリンクさせることができます。周波数の割り当てや出力先に制限がある場合などに有効です。

注：送信機同士の干渉を避けるため、常に1台の送信機のみをオンにして運用してください。

送信機を受信機に同期させる

同一チャンネルで使用する2台の送信機は、受信機と赤外線 (IR) 同期を通してリンクされている必要があります。

1. 1台目の送信機をオンにして受信機と赤外線 (IR) 同期を実行してください。
2. サウンドチェックを実行し、必要に応じて送信機のゲインを調節してください。終了したら、送信機をオフにしてください。
3. 2台目の送信機をオンにして受信機と赤外線 (IR) 同期を実行してください。
4. 実際の運用想定でサウンドチェックを行い、必要に応じて送信機のマイクオフセット機能を使用し調節してください。終了したら、送信機をオフにしてください。

オーディオレベルをマイクオフセットに合わせる

2台の送信機を1台の受信機チャンネルにリンクする際は、マイクロホンまたは楽器間の音量レベルに差がある可能性があります。そのような音量差がある場合、送信機側のMic Offset機能を使用してオーディオレベルを合わせ、2つの送信機による音量差を解消します。1台の送信機のみ使用する場合は、Mic Offsetは0 dBに設定します。

1. 1台目の送信機をオンにしてサウンドチェックを行いオーディオレベルを確認します。完了したら、送信機をオフにしてください。
2. 2台目の送信機をオンにして、オーディオレベルを確認するためサウンドチェックを実行してください。

3. 2台の送信機でオーディオレベルに差がある場合は、送信機側のMic Offsetメニューを選択してマイクオフセット値を変更しながら調整し、オーディオレベルを合わせてください。



マルチマイクロホンモード

マルチマイクロホンモードでは、共有された周波数リストを使用して複数のポータブルシステムをセットアップしたり、SLXD5受信機の矢印ボタンを使って複数の送信機をモニタリングしたりできます。

一度設定すれば、システムの任意のSLXD5受信機で、共有されたリスト上のチャンネルに同期されたあらゆるマイクロホン送信機から音声を受信できます。受信機の矢印ボタンを使ってチャンネルIDをハイライトします。音声の変更がすぐに適用されます。

注：システム内のすべてのSLXD5受信機は、同じ動作帯域でなければなりません。

共有されたリストを使用する：

〔マルチマイクロホンモード〕メニューから：

- 〔モード/リストを入力〕で、デバイス上の既存の周波数リストをすべて開きます。
 - 矢印ボタンを使用して周波数をハイライトします
 - [Enter] を押すと、選択したチャンネルの名前の変更や、音声ゲインの調整、リストからの周波数の削除を行えます
 - リストの下部からその他の周波数を追加します。
- 〔リストを作成〕でグループスキャンを開始し、利用可能なチャンネルを確認します。
 - 矢印ボタンを使って目的のグループを選択し、[Enter] を押して確定します
 - チャンネル数をシステムの送信機の数に設定し、[Enter] を押して確定します
- 〔リストを共有〕で、IR同期を通じてデバイス上のリストを他のSLXD5受信機にコピーします。
- 〔リストを削除〕で、デバイス上に保存されたリストのデータをクリアします。

複数のシステムのセットアップ：

1. 最初のSLXD5受信機（受信機A）でリストを作成します：
 1. 〔マルチマイクロホン〕 > 〔リストを作成〕を選択し、〔実行〕を押します。
 2. グループスキャンの後、利用可能なチャンネルが最も多いグループが表示されます。別のグループを選択するには、矢印ボタンを使用し、〔実行〕を押して確定します。
 3. 矢印ボタンを使用して、セットアップのシステム数に合わせてチャンネル数を変更します（デフォルトは10）。
 4. 〔実行〕を押して確定したら、〔終了〕を押して前のメニューに戻ります。
2. システム内のその他のSLXD5受信機にリストを共有します：
 1. 受信機Aでは、〔マルチマイクロホン〕 > 〔リストを共有〕を選択し、〔実行〕を押します。
 2. 受信機Aともう1台のSLXD5のIRポートの位置を合わせ、受信機Aの〔同期〕ボタンを押すと、周波数リストがワイヤレスで共有されます。システム内の受信機に対して、必要に応じて繰り返します。
3. 受信機を目的の周波数に設定します：
 1. 共有リストを使用している任意のSLXD5で、〔マルチマイクロホン〕 > 〔モード/リストの切り替え〕を選択し、〔実行〕を押します。
 2. 矢印ボタンを使って、この受信機に割り当てる周波数を選択します。
 3. 〔終了〕を1回押すと前のメニューに戻り、3回押すとホーム画面に戻ります。受信機は選択した周波数に設定されます。

4. 送信機を同期します：

1. 共有リストを使用している任意のSLXD5で、[マルチマイクロホン] > [モード/リストの切り替え] を選択し、[実行] を押します。
2. SLX-D送信機の電源をオンにします。
3. 受信機の矢印キーを使って、その送信機のチャンネルを選択します。
4. 送信機と受信機のIRポートの位置を合わせ、[同期] ボタンを押します。

注：すべての送信機は、同じ受信機から共有リストの任意のチャンネルに同期させることができ、同じチャンネルに設定された受信機に音声を送ることができます。

周波数を追加または編集する：

共有リストを使用している任意のSLXD5で、[マルチマイクロホン] > [モード/リストの切り替え] を選択し、矢印ボタンを使用して周波数を選択します。[実行] ボタンを押して以下を実行します：

- チャンネル名の変更
- ヘッドホン出力ゲインの変更
- この周波数をリストから削除

新しい周波数を追加するには、リストの一番下まで移動し、[周波数を追加] を選択します。矢印ボタンを使って周波数を手動で設定し、[実行] を押して確定します。

複数の送信機のモニタリング：

複数のポータブルシステムをマルチマイクロホンモードでセットアップすると、どのSLXD5ポータブル受信機でもシステム内のすべての送信機をモニタリングできます。

1. [マルチマイクロホン] > [モード/リストの切り替え] を選択します。
2. 矢印ボタンを使用して、モニタリングする周波数を選択します。
3. SLXD5ヘッドホンジャックから音声を聞きます。

SLX-Dを他のShureワイヤレスシステムに追加する

異なるShureワイヤレスシステム間で互換性のある周波数を見つけるには、ShureのWireless Workbench周波数コーディネートツールを使用します。使用を開始するには、<http://www.shure.com/wwb>からソフトウェアをダウンロードします。追加のサポートが必要な場合は、<http://www.shure.com/contact>にアクセスしてください。

RF出力設定

送信機のRF出力を設定する

送信機は、カバーエリアや用途に応じて2つのRF出力設定を有します。

- Low = 1 mW
- High = 10 mW

送信機と受信機または受信アンテナが近接するような運用の場合は [Low] 設定を使用します。

1. 送信機の [RF power] メニューを選択します。
2. [menu] ボタンを使用して [High] または [Low] を選択します。
3. enterを押して保存します。

ネットワーク

受信機は、イーサネット接続を使用してその他のコンポーネントとネットワーク接続が可能です。またDHCPが有効化されたルータに接続されている際にオートでネットワーク接続を確立するための内部DHCPクライアントが含まれています。

ネットワークへの接続

1. 受信機の背面にあるイーサネットポートにイーサネットケーブルを接続します。
2. イーサネットケーブルをコンピューターまたはルータに接続します。
3. 受信機のポートLEDが点灯し、ネットワーク接続状況とネットワークトラフィックを表示します。

自動IPアドレス設定

1. サーバーのDHCP機能を有効にするか、DHCPが有効化されたルータを使用します。
2. 受信機の電源がオンになっている場合、DHCPサーバーは自動的にIPアドレスを受信機に割り当てます。

構成のヒント

- シールドされたCat 5以上のイーサネットケーブルを使用して、信頼性の高いネットワークパフォーマンスを構築します。
- イーサネットポートのLEDが点灯し、ネットワーク接続が有効であることを表示します。
- 受信機がネットワーク上に追加されたShureのデバイスを検出すると、ネットワークアイコンが点灯します。
- すべてのコンポーネントは同一のサブネット上で動作する必要があります。
- 大規模な設置には複数のイーサネットスイッチを使用してネットワーク接続を拡張します。

ネットワークトラブルシューティング

- ネットワークごとにDHCPサーバーは1台だけ使用してください。
- すべての機器が同じサブネットマスクを共有しなければなりません。
- すべての受信機に同じレベルのファームウェアバージョンをインストールしてください。
- 各デバイスのフロントパネルにあるネットワークアイコンのLEDステータスを確認してください。
 - ネットワークアイコンが点灯していない場合、ケーブル接続とイーサネットポートのLEDをチェックします。
 - イーサネットケーブルが接続されているのにイーサネットポートのLEDが点灯していない場合には、ケーブルを交換し、LEDとネットワークアイコンを再度チェックします。

外部コントロールシステムに接続する

SLXD4とSLXD4D受信機は、イーサネットを介したAMXやCrestronなどの外部コントロールシステムと互換性があります。システムごとにコントローラーを1つだけ使用し、メッセージの衝突を防止します。

- 接続：イーサネット（TCP/IP、SLX-D受信機はクライアントです）
- ポート：2202

SLX-Dは、デフォルトでコマンド文字列をブロックします。[詳細設定] > [コントローラのアクセス] メニューで、サードパーティーのコントロールをブロックまたは許可することができます。

SLX-Dのコマンド文字列の全リストについては、<https://pubs.shure.com/command-strings/SLXD/en-US>を参照してください。

ファームウェアアップデート

ファームウェアは各コンポーネントに埋め込まれたソフトウェアで、各機能をコントロールします。定期的に新しいバージョンがリリースされ、機能の追加や拡張が行われます。改善された設計を反映するために、Shureアップデートユーティリティ（SUU）を使ってファームウェアの新しいバージョンをアップロードしインストールすることができます。SUUは、https://www.shure.com/ja-JP/products/software/shure_update_utilityからダウンロードします。

次のステップを実行し、ファームウェアをアップデートします：

注意! アップデート中はデバイスを安定したネットワークで接続を確立してください。アップデートが完了するまでデバイスの電源を切らないでください。

1. デバイスとコンピューターを同じネットワークに接続します（同じサブネット内に設定）
2. SUUアプリケーションを開きます。
3. ウィンドウ上部にある [Updates] ボタンをクリックして、Download Managerを開きます。

注：このボタンのラベルは [Check for updates...] または [#] updates available/ です。

4. Download Managerから、必要なファームウェアバージョンを選択します。

ヒント：右上のドロップダウンを使用すると、迅速に [Select : All] または [Select : None] にできます。

注：アップデートが完了したら、デバイスのウェブアプリケーションにアップデートを表示するためにブラウザのキャッシュをクリアする必要がある場合があります。

5. [Download] をクリックしてから、次にDownload Managerを [Close] します。ダウンロードされたファームウェアがリストアップされ、[Firmware] タブで表示および管理ができます。
6. [Update Devices] タブから新しいファームウェアを選択して、[Send Updates] を押すとファームウェアのアップデートを開始します。デバイスの既存のファームウェアが新しいファームウェアに上書きされます。

送信機のファームウェアアップデート

1. 受信機のDevice Configurationメニューから：[Advanced Options] > [Tx Firmware Update] を選択します。
2. 送信機の赤外線（IR）ポートと受信機の赤外線（IR）ポート位置を合わせ、[sync] ボタンを押します。

重要：アップデート中は、IRポート位置を合わせたまま固定し通信を維持する必要があります。

3. 同期が完了したら、ワイヤレスシステムを使用できます。

ファームウェアリリース要件

すべてのデバイスは、適切な動作を確保するために連携する複数の通信プロトコルを用いたネットワークを構成しています。推奨される最善の方法は、すべてのデバイスを同一のリリースバージョンにすることです。ネットワーク上の各デバイスのファームウェア

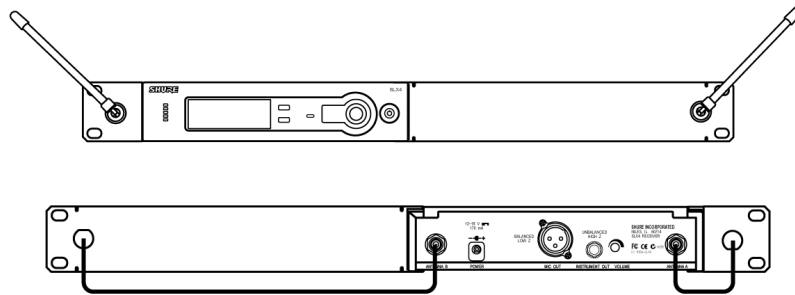
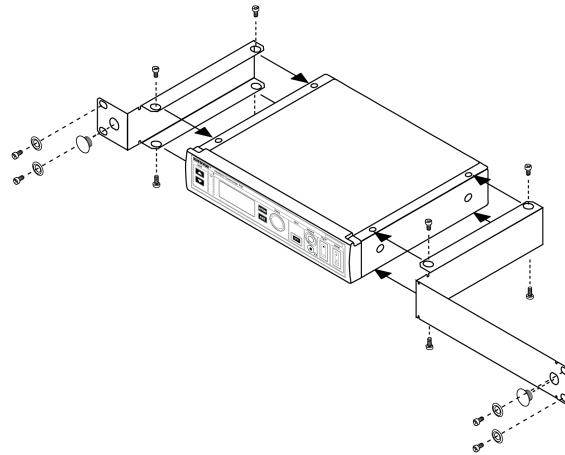
バージョンを確認するには、デバイスの構成に進み、 ([Settings]) > [Firmware] で確認します。

Shureデバイスのファームウェア形式は、MAJOR.MINOR.PATCHです。（例、1.6.2の場合、1はメジャーファームウェアレベル、6はマイナーファームウェアレベル、2はパッチファームウェアレベルです。）少なくとも同じサブネット上で動作するデバイスは、メジャーとマイナーのリリース番号が同一である必要があります。

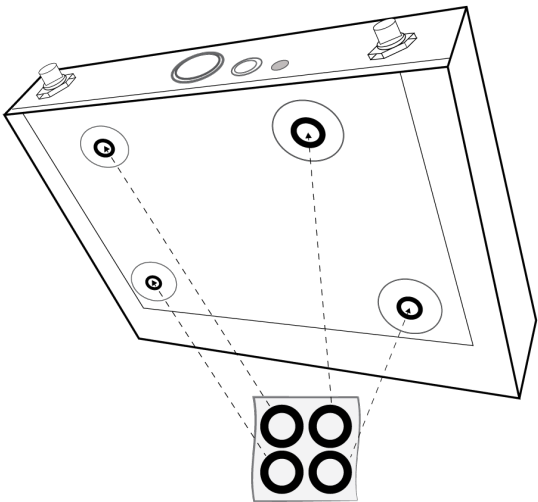
- メジャーのリリースが異なるデバイスは互換性がありません。
- パッチファームウェアリリースのレベルが異なる場合は、予期しない不具合が発生することがあります。

SLXD4受信機をラックに取り付ける

同梱の全アクセサリ：



フットパッドの取り付け



オプションのアクセサリ

充電電池と充電器

Shureリチウムイオン充電電池	SB903
8ベイクレードル充電器	SBC80-903-AR
	SBC80-903-AZ
	SBC80-903-BR
	SBC80-903-CN
	SBC80-903-E
	SBC80-903-IN
	SBC80-903-J
	SBC80-903-K
	SBC80-903-TW
	SBC80-903-UK
	SBC80-903-US
デュアルドッキング充電器	SBC203-AR
	SBC203-AZ

	SBC203-BR
	SBC203-CN
	SBC203-E
	SBC203-IN
	SBC203-J
	SBC203-K
	SBC203-TW
	SBC203-UK
	SBC203-US
シングル充電器	SBC10-903-AR
	SBC10-903-AZ
	SBC10-903-BR
	SBC10-903-CN
	SBC10-903-E
	SBC10-903-IN
	SBC10-903-J
	SBC10-903-K
	SBC10-903-TW
	SBC10-903-UK
	SBC10-903-US
バッテリーエリミネーター (SLXD5ボディパック受信機用)	SBC-DC-903

UHF アンテナ分配システム

アンテナ/電源分配システム (470～960 MHz)	UA844+SWB
	UA844+SWB-AR
	UA844+SWB-AZ
	UA844+SWB-BR
	UA844+SWB-C
	UA844+SWB-E
	UA844+SWB-J
	UA844+SWB-K

	UA844+SWB-TW
	UA844+SWB-UK
	UA844+SWB-IN
アンテナ/電源分配システム（ケーブルなし、470～960 MHz）	UA844+SWB/LC
	UA844+SWB/LC-AR
	UA844+SWB/LC-BR
	UA844+SWB/LC-C
	UA844+SWB/LC-E
	UA844+SWB/LC-UK
広帯域アンテナ/電源分配システム（174～1,805 MHz）	UA845UWB
	UA845UWB-AR
	UA845UWB-AZ
	UA845UWB-BR
	UA845UWB-C
	UA845UWB-E
	UA845UWB-IN
	UA845UWB-J
	UA845UWB-K
	UA845UWB-TW
	UA845UWB-UK
広帯域アンテナ/電源分配システム（ケーブルなし、174～1,805 MHz）	UA845UWB/LC
	UA845UWB/LC-AR
	UA845UWB/LC-BR
	UA845UWB/LC-E
	UA845UWB/LC-UK

UABIAST

インラインパワーサプライ	UABIAST-US
	UABIAST-UK
	UABIAST-BR
	UABIAST-AR

	UABIAST-E
	UABIAST-CHN
	UABIAST-IN
	UABIAST-K
	UABIAST-J
	UABIAST-AZ
	UABIAST-TW

アンテナブースターとアンテナ

アンテナブースター (470~900 MHz)	UA834WB
アンテナブースター (902~960 MHz)	UA834XA
アクティブ指向性アンテナ (470~790 MHz)	UA874E
アクティブ指向性アンテナ (470~698 MHz)	UA874US
アクティブ指向性アンテナ (470~900 MHz)	UA874WB
アクティブ指向性アンテナ (925~952 MHz)	UA874X
パッシブ指向性アンテナ (470~952 MHz)	PA805SWB
パッシブ指向性アンテナ (650~1,100 MHz)	PA805X
パッシブ無指向性アンテナ (470~1,100 MHz)	UA860SWB
UHFパッシブアンテナスプリッタ	UA221
フロントマウントアンテナキット (ケーブル2本とバルクヘッド2個を含む)	UA600
リモートアンテナ用金具 (BNCバルクヘッドアダプター付き)	UA505
ヘリカルアンテナ、470~900 MHz	HA-8089

ケーブル、ケース、コネクタ

同軸ケーブル、BNC-BNC、RG58C/Uタイプ、50オーム、長さ0.6 m	UA802
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG58C/Uタイプ、50オーム、長さ2 m	UA806
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG8X/Uタイプ、50オーム、長さ7.5 m	UA825
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG8X/Uタイプ、50オーム、長さ15 m	UA850

同軸ケーブル、BNC-BNC、RG213/Uタイプ、50オーム、長さ30 m	UA8100
イーサネットジャンパーケーブル、8インチ	C8006
イーサネットケーブル、3フィート	C803
イーサネットケーブル、10フィート	C810
イーサネットケーブル、高耐久性、25フィート	C825
イーサネットケーブル、高耐久性、50フィート	C850
イーサネットケーブル、高耐久性、100フィート	C8100
SLXD5ボディパック受信機用防水カバー	WA301
SLXD5ボディパック受信機用非導電性カメラシューアダプター	WA311

1/2波長無指向性アンテナ

470-542 MHz	UA8-470-542
500-560 MHz	UA8-500-560
518-598 MHz	UA8-518-598
554-638 MHz	UA8-554-638
596-698 MHz	UA8-596-698
670-742 MHz	UA8-670-742
690-746 MHz	UA8-690-746
694-758 MHz	UA8-694-758
710-790 MHz	UA8-710-790
740-814 MHz	UA8-740-814
750-822 MHz	UA8-750-822
774-865 MHz	UA8-774-865
900-1000 MHz	UA8-900-1000

仕様

システムRF

運用周波数帯域

470～937.5 MHz、地域により異なります（周波数範囲および送信出力一覧を参照）

到達距離

100 m (328フィート)

注：

RF チューニングステップサイズ

25 kHz、地域により異なります。

JB帯：125 kHz

イメージ抑圧比

>70 dB、標準

RF 感度

10^{-5} BER時-97 dBm

システム温度

動作温度範囲

-18°C (0°F) ~ 50°C (122°F)

注：電池特性によりこの範囲は異なる場合があります。

保管温度範囲

-29°C (-20°F) ~ 74°C (165°F)

注：電池特性によりこの範囲は異なる場合があります。

システムオーディオ

レイテンシー

3.2 ms

ハイパス/ローカットフィルタ

150 Hz @ -12 db/oct

注：工場出荷時設定ではHPFがオフになっています

オーディオダイナミックレンジ

118 dB (1% THD、Aウェイト、標準)

THD (全高調波歪率)

<0.02%

システムオーディオ極性

マイクロホンのダイヤフラムへの正の圧力は、XLR出力端子ピン2（ピン3に対して）と1/4インチ出力端子チップ（リングに対して）に正電圧を生成します。

マイクオフセットレンジ

0 ~ 21 dB (3 dBステップ)

SLXD4 / SLXD4D ラック受信機

寸法

SLXD4	42 x 197 x 152 mm (1.65 x 7.76 x 5.98インチ)、高さ x 幅 x 奥行
SLXD4D	42 x 393 x 152 mm (1.65 x 15.47 x 5.98インチ)、高さ x 幅 x 奥行

質量

SLXD4	816 g、アンテナ除く
SLXD4D	1,451 g、アンテナ除く

外装仕様

亜鉛メッキ鋼

使用電源

DC 15 V、600 mA、外部電源により供給 (チッププラス)

RF 入力

スプリアス抑圧比

>75 dB、標準

コネクタの種類

BNC

インピーダンス

50 Ω

ファンタム電源保護

1/4インチ (6.35 mm)	搭載
XLR	搭載

オーディオ出力

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz (+1、-2 dB)

ゲイン調整範囲

-18 ~ +42 dB (1 dB刻み)

構成

1/4インチ (6.35 mm)	バランス (チップ=オーディオ+、リング=オーディオ-、スリーブ=グランド)
XLR	バランス (1=グランド、2=オーディオ+、3=オーディオ-)

インピーダンス

1/4インチ (6.35 mm)	1.3 k Ω (670 Ω アンバランス)
XLR (Line)	400 Ω (200 Ω アンバランス)
XLR (Mic)	150 Ω

フルスケール出力

1/4インチ (6.35 mm)	+15 dBV バランス (+9 dBV、アンバランス)
XLR	Line設定= +15 dBV、Mic設定= -15 dBV

Mic/Lineスイッチ

30 dBパッド

ネットワーク**ネットワークインターフェース**

シングルポート イーサネット 10/100 Mbps

ネットワークアドレス容量

DHCPまたはマニュアルIPアドレス

最大ケーブル長

100 m (328フィート)

SLXD5ボディパック受信機**寸法**

107 × 68 × 25.3 mm (4.21 × 2.68 × 1インチ)、高さ × 幅 × 奥行

質量

182 g

外装仕様

アルミニウム

使用電源

電池	充電式リチウムイオン電池、または1.5 V単三電池 (2)
ACアダプター	SBC-DC-903バッテリーエリミネーター、またはUSB-Cを介した5V DC

RF入力**スプリアス抑圧比**

>75 dB、標準

インピーダンス50 Ω

ファンタム電源保護

搭載

アンテナタイプ

¼波長ホイップ

オーディオ出力**周波数特性**

20 Hz ~ 20 kHz (+1、-3 dB)

コネクタの種類

3.5 mm (⅛インチ)、x2

構成

バランス	チップ=オーディオ+、リング=オーディオ-、スリーブ=接地
ステレオ	チップ=左、リング=右、スリーブ=接地

詳細については図を参照してください

インピーダンス（カメラ）

バランスライン	450 Ω
バランスマイクロホン	240 Ω
ステレオライン	400 Ω
ステレオマイクロホン	200 Ω

フルスケール出力

カメラ（バランスライン）	15 dBV
ヘッドホン	13mW @ 64 Ω負荷

SLXD1 ボディパック型送信機**電池タイプ**

リチウムイオン充電電池または1.5 V単三電池

寸法

98 x 68 x 25.5 mm (3.86 x 2.68 x 1インチ)、H x W x D

質量

89 g

外装仕様

PC/ABS

音声入力

コネクタ

4ピン・オス型ミニコネクタ (TA4M)

構成

詳細については図を参照してください

インピーダンス

1 M Ω

最大入力レベル

8.2 dBV (2.57 Vrms、7.27 Vpp)

プリアンプ等価入力ノイズ (EIN)

-118 dBV

RF出力

アンテナタイプ

1/4波長アンテナ

占有帯域幅

<200 kHz

変調方式

Shure独自デジタル方式

送信出力

1 mWまたは10 mW

周波数範囲および送信出力一覧を参照。地域により異なります。

SLXD2 ハンドヘルド型送信機

電池タイプ

リチウムイオン充電電池または1.5 V単三電池

寸法

37.1 x 176 mm (1.46 x 6.93インチ)、D x L

質量

147 g

外装仕様

アルミニウム

音声入力

構成

詳細については図を参照してください

最大入力レベル

8.2 dBV (2.57 Vrms、7.27 Vpp)

注：マイクロホンのタイプにより異なります

RF 出力

アンテナタイプ

一体型シングル帯域ヘリカル

占有帯域幅

<200 kHz

変調方式

Shure独自デジタル方式

送信出力

1 mWまたは10 mW

周波数範囲および送信出力一覧を参照。地域により異なります。

SLXD3プラグオン送信機

電池タイプ

リチウムイオン充電電池または1.5 V単三電池

寸法

126 × 41 × 41 mm (4.96 × 1.61 × 1.61インチ)、高さ × 幅 × 奥行

質量

200 g

外装仕様

アルミニウム、亜鉛合金、PC/ABS

Audio Input

コネクタの種類

XLR

詳細については図を参照してください

最大入力レベル

バッド -12 dB	20.5 dBV
0 dB	8.5 dBV
ブースト +12 dB	-3.5 dBV

1% THDで1 kHz

注：マイクロホンタイプにより異なります

ファンタム電源

+48 V（最大7 mA）、+12 V（最大15 mA）

RF出力**アンテナタイプ**

双極子

占有帯域幅

<200 kHz

変調方式

Shure独自デジタル方式

電源

1 mW / 10 mW / 30 mW

周波数範囲および送信出力一覧を参照。地域により異なります。

Specific Absorption Rate (SAR)

< 0.17 W/kg

SB903充電電池**充電電圧**

4.2 V (±0.03 V)

充電電流

SBC10-903使用時	220 mA
SBC203使用時	625 mA（通常）、250 mA（低減）*
SLXD3	650 mA
SLXD5	600 mA

*通常 = 10°C ~ 45°C (50°F ~ 113°F)、低減 = 0°C ~ 10°C (32°F ~ 50°F)

定格電圧

3.6 V

定格容量

1,200 mAh

外装仕様

成形ポリカーボネート

充電温度範囲

0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)

寸法

14.5 x 32.5 x 55.5 mm (0.57 x 1.28 x 2.19インチ)、高さ x 幅 x 奥行

質量

28 g

SBC10-903充電器**DC入力電圧範囲**

DC 5 V

充電電流*USB電源*

220 mA

充電時間

50% = 3時間、100% = 5時間30分

外部電源

SBC10-USB

使用電源

5 V DC、最大1A。

動作温度範囲

0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)

寸法

20.5 x 37.5 x 79.5 mm (0.81 x 1.48 x 3.13インチ)、高さ x 幅 x 奥行

質量

39 g

外装仕様

成形ポリカーボネート

SBC203充電器

充電電流

625 mAまたは250 mA

別の電源を使用する場合、または0°C～10°Cで動作している場合に適用される低電流時

充電時間

50% = 1時間15分、100% = 2時間30分

外部電源

SBC10-USB15WまたはSBC10-USB15WS

使用電源

5 V DC、最大3 A。

動作温度範囲

0°C～45°C (32°F～113°F)

寸法

66.3 x 86.0 x 155 mm (2.61 x 3.38 x 6.13インチ)、H x W x L

質量

284 g

外装仕様

ABS

SBC80-903充電器 (8ベイ)

充電電流

625mA

充電時間

50%=1時間、100%=3時間

外部電源

PS60

使用電源

15V DC、4A

寸法

30 mm x 173 mm x 146 mm (1.18インチ x 6.81インチ x 5.75インチ)、高さ x 幅 x 奥行

質量

375 g (13.2オンス)

保管温度範囲

-29°C ~ 74°C (-20°F ~ 165°F)

充電温度範囲

0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)

SBC-DC-903 DCアダプターバッテリーエリミネーター**入力**

5 V ~ 24 V DC

出力

3 V DC、最大500 mA

寸法

49.9 mm × 32.9 mm × 14.5 mm (1.96インチ × 1.30インチ × 0.57インチ)、高さ × 幅 × 長

質量

30 g (1.1オンス)

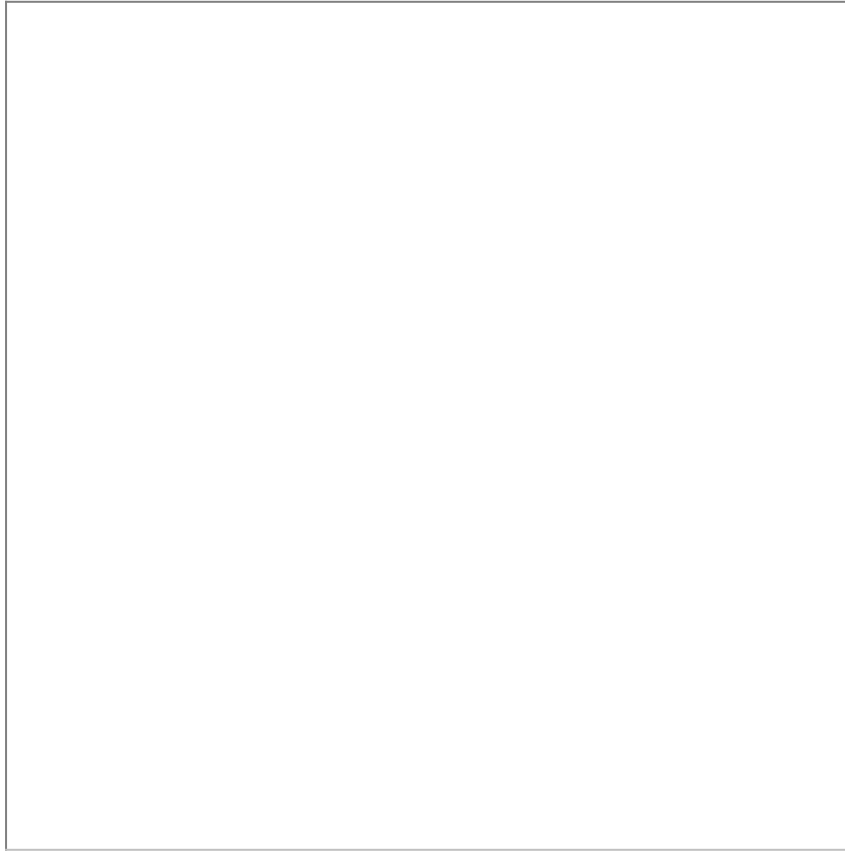
保管温度範囲

-29°C ~ 74°C (-20°F ~ 165°F)

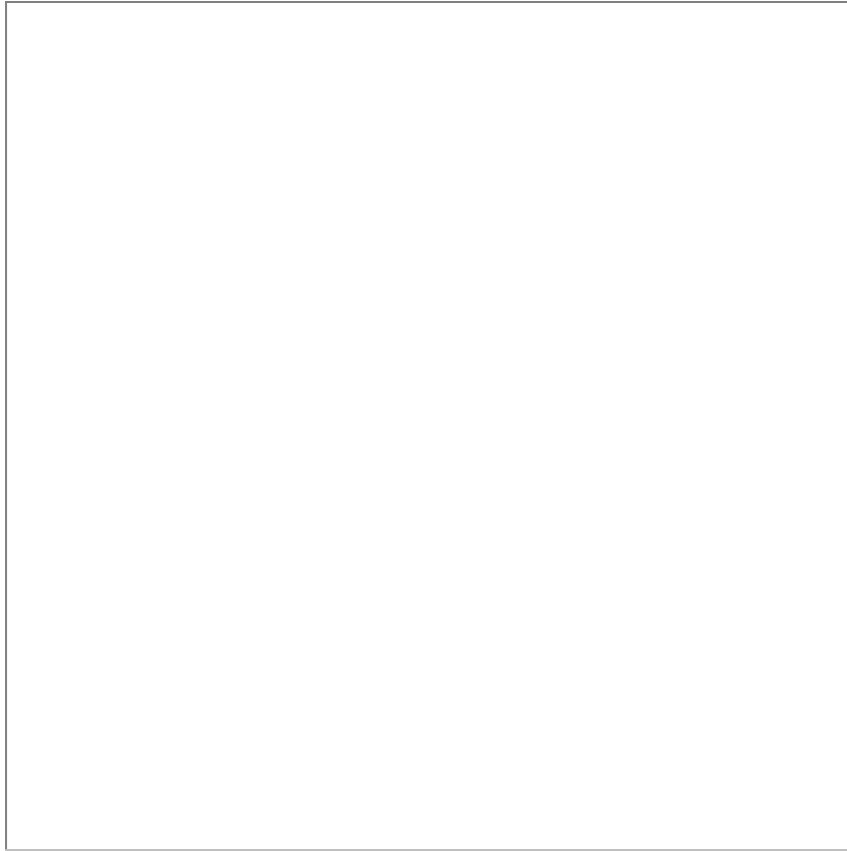
動作温度範囲

-18°C ~ 57°C (0°F ~ 135°F)

受信機音声出力コネクター

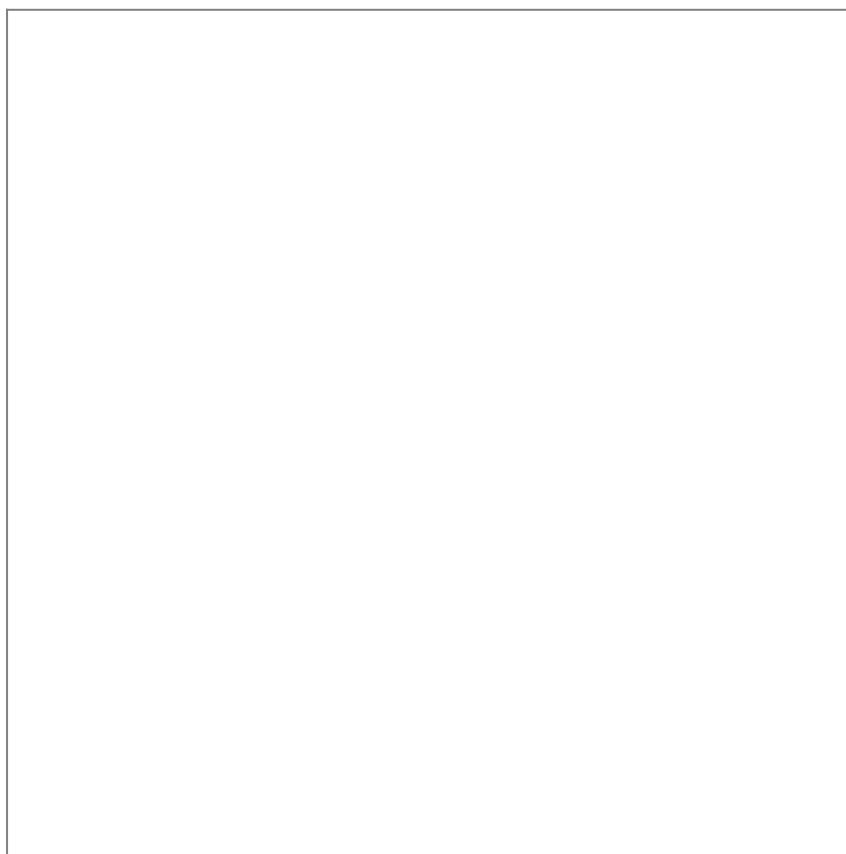


SLXD4

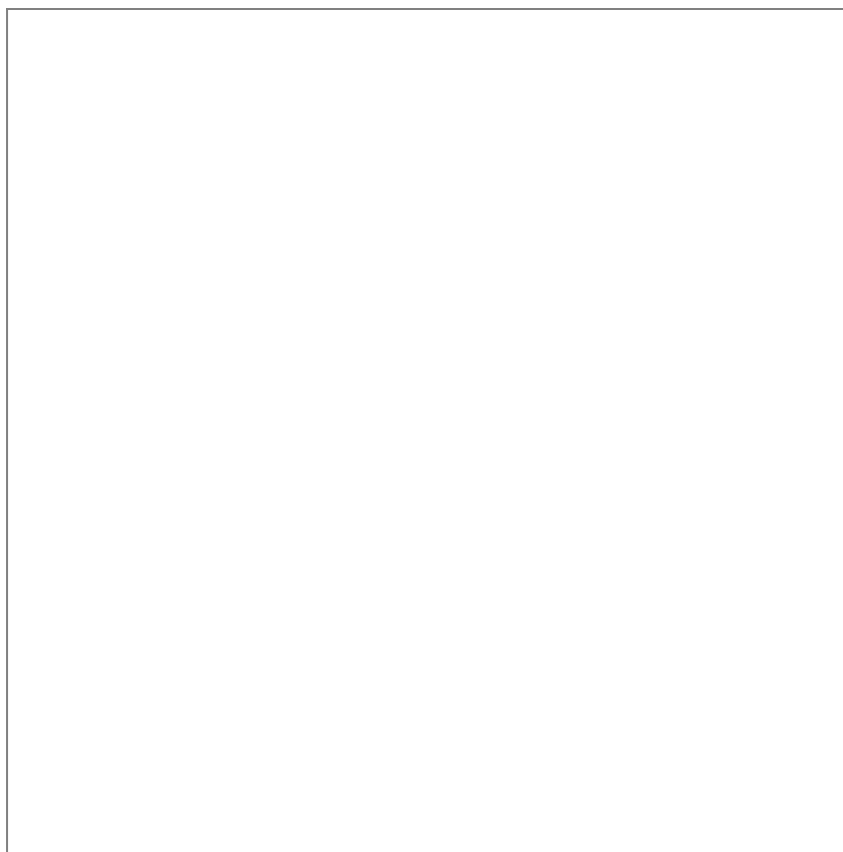


SLXD5

送信機音声入力コネクター



SLXD1/SLXD2



SLXD3

周波数帯域および送信機出力

帯域	周波数帯域 (MHz)	電源 (mW RMS) * (低/高)
G58	470～514	1 / 10 / 30**
G59	470～514	1 / 10 / 30**
G60	470～510	1 / 10 / 30**
G61	479～523	1 / 10
G62	510から530	1 / 10 / 30**
H55	514～558	1 / 10 / 30**
H56	518～562	1 / 10 / 30**
H57	520～564	1 / 10

帯域	周波数帯域 (MHz)	電源 (mW RMS) * (低/高)
J52	558 ~ 602	1 / 10 / 30**
	614 ~ 616	1 / 10
J53	562 ~ 606	1 / 10 / 30**
J54	562 ~ 606	1 / 10 / 30**
JB	806から810	1 / 10
K59	606 ~ 650	1 / 10 / 30**
L55	646 ~ 690	1 / 10
L56	650 ~ 694	1 / 10 / 30**
L57	650 ~ 694	1 / 10
L58	630 ~ 674	1 / 10 / 30**
L59	654 ~ 698	1 / 10 / 30**
M55	694 ~ 703、 748 ~ 758	1 / 10 / 30**
S50	823 ~ 865	1 / 10
X51	925 ~ 937.5	1 / 10

* Power delivered to the antenna port

** SLXD3のみ

Note: Frequency bands might not be available for sale or authorized for use in all countries or regions.

欧州諸国における周波数



	Country Code	Frequency Range
SLXD-G59	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GB, GR, H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, S, SK, SLO, DK, FIN, M, N, HR, E, IRL, LV, RO, TR	470 - 514 MHz*
SLXD-G60	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GB, GR, H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, S, SK, SLO, DK, FIN, M, N, HR, E, IRL, LV, RO, TR	470 - 510 MHz*
SLXD-H56	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GB, GR, H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, S, SK, SLO, DK, FIN, M, N, HR, E, IRL, LV, RO, TR	518 - 562 MHz*

	Country Code	Frequency Range
SLXD-J53	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GB, GR, H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, S, SK, SLO, DK, FIN, M, N, HR, E, IRL, LV, RO, TR	562–606 MHz*
SLXD-K59	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GB, GR, H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, S, SK, SLO, DK, FIN, M, N, HR, E, IRL, LV, RO, TR	606–650 MHz*
SLXD-L56	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GB, GR, H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, S, SK, SLO, DK, FIN, M, N, HR, E, IRL, LV, RO, TR	650 - 694 MHz*
SLXD-S50	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GB, GR, H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, S, SK, SLO, DK, FIN, M, N, HR, E, IRL, LV, RO, TR	823–865 MHz *

* This equipment may be capable of operating on some frequencies not authorized in your region. See [Licensing Information](#).

重要な製品安全情報

シンボルの説明

	警告。この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意。この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

安全のための重要注意事項

1. この説明書をお読みください。
2. この説明書を保管しておいてください。
3. すべての警告事項に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除は乾いた布でから拭きするだけにしてください。
7. 通風口を塞がないようにしてください。十分な換気ができるよう余裕を持たせ、メーカーの指示に従って設置してください。
8. 炎、ラジエーターや暖房送風口、ストーブ、その他、熱を発生する機器（アンプなど）の近くには設置しないでください。炎が出る物を製品の上に置かないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全のために用いられていますので、正しく接続してください。有極プラグは、2本のブレードのうち一方が幅広になっています。アース付きプラグは、2本のブレードの他に、3本目のアース端子がついています。幅の広いブレードや3本目の棒は、安全のためのものです。これらのプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、コンセントを交換してもらってください。
10. 電源コードは特にプラグ差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、引っかかって抜けたり挟まれたりしないように保護してください。
11. アタッチメントや付属品は必ずメーカー指定のものをご利用ください。

12. カートやスタンド、三脚、ブラケット、テーブル等は、メーカー指定のものか、この装置用に販売されているものを必ずご利用ください。カートに装置を載せて動かす際は、転倒により怪我をしないよう注意してください。



13. 雷を伴う嵐の際や、または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が装置内に入り込んだ場合、装置が雨や湿気に曝された場合、正常に作動しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの状態で損傷した場合は、整備が必要です。
15. 水滴や水しぶきに曝さないでください。液体の入った花瓶などを装置の上に置かないでください。
16. MAINSプラグまたはアプライアンスカプラーが使用できる状態にしておいてください。
17. 装置の空気中騒音は70 dB (A) を超えません。
18. クラスI構造の装置は保護接地接続のある主電源の壁コンセントに接続してください。
19. 火災や感電の危険を避けるため、本機器は雨や湿気のある場所にさらさないでください。
20. 本製品の改造は試みないでください。けがや製品の故障の原因となる可能性があります。
21. 本製品は指定された動作温度範囲内で使用してください。
22. 製品の設置または再配置に建設作業が必要な場合には、現地の規則に従い、資格のある担当者に相談してください。製品の重量を支えられる取り付けハードウェアと設置場所を選択します。絶えず振動している場所は避けます。製品を適切に設置するために必要なツールを使用します。定期的に製品を点検してください。

警告：

- この装置内には、生命に危険な高電圧が存在します。内部には、ユーザーが整備できる部品はありません。整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。使用電圧の工場出荷時設定が変更された場合は、安全保証は適用されません。
- 水や異物がデバイス内に入ると火災や感電の原因となります。

電池に関する製品安全情報

- バッテリーパックは爆発、または有毒な物質を放出する場合があります。火災または火傷の恐れがあります。開けたり、押し潰したり、改造したり、分解したり、60°C (140°F) 以上の熱に曝したり、焼却したりしないでください。
- メーカーの指示に従ってください。
- Shure充電器はShure充電式バッテリーの充電のみに使用してください

警告：



電池が間違っって交換された場合、爆発する恐れがあります。同じ種類または同等の種類の電池と交換してください。

電池を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。使用済みバッテリーパックの適切な廃棄方法については、各地域の販売店にお問い合わせください。

- 決して口の中に電池を入れないでください。飲み込んだ場合は医師または最寄りの中毒事故管理センターまで連絡してください。
- ショートさせないでください。火傷または火災の原因となります。
- Shure充電式バッテリー以外のバッテリーパックを充電、または使用しないでください。
- 電池（電池パックまたは内蔵電池）は直射日光、火などの高熱に曝さないでください。
- 電池は、水、飲料、その他の液体に浸さないでください。
- プラスとマイナスを逆にして電池を取り付けたり挿入したりしないでください。
- 小さい子供の手の届かないところに保管してください。

11. 異常な電池は使用しないでください。
12. 輸送の際には電池をしっかりと梱包してください。

注：付属電源、バッテリー、またはShure認可の電源でのみ使用してください。

充電器に関する製品安全情報および規制情報

1. 本機器はプロオーディオ用途の製品です。
2. この充電器はShure社の充電モジュールと指定電池パックにのみ使用してください。指定のモジュールと電池パック以外のものに使用すると、発火や爆発の危険性が高まります。
3. Shure社によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、この機器を操作する権利が無効になります。

重要な製品規制情報

EMCについて

電磁妨害 (EMI) とは、自由空間に発せられたり、電源や信号のリード線に沿って伝導される信号や放射のことで、無線航行またはその他の安全サービスの機能を危険にさらしたり、認可された無線通信サービスを著しく低下、妨害、または繰り返し中断させたりします。無線通信サービスには、AM/FM商業放送、テレビ、携帯電話サービス、レーダー、航空管制、ポケットベル、個人通信サービス (PCS) などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらの認可された無線サービスや、WLAN、ZIGBEE、Bluetoothなどの無認可無線サービス、さらにデジタル機器などの非意図的な放射体が電磁環境に寄与しています。

電磁両立性 (EMC) とは、電子機器が電子環境において互いに正しく機能する能力のことです。本装置は、EMIに関する規制機関の制限に準拠するように設計および決定されていますが、特定の設置において干渉が発生しないことを保証するものではありません。

Shure製品は、意図された電磁環境用に設計、試験、分類されています。これらの電磁環境の分類は、一般的に以下の統一された定義を参照しています：

- クラスBの製品は、住宅および家庭環境での使用を意図していますが、非住宅および非家庭環境でも使用できます。

注：住宅および家庭環境とは、本製品を使用する場所から10 m以内にラジオやテレビ受信機の使用が予想される環境を指します。

- クラスAの製品は、非住宅および非家庭環境での使用を意図しています。クラスAの製品は住宅および家庭環境でも使用できますが、干渉を引き起こす可能性があるため、ユーザーは適切な是正措置を講じる必要があります。

EMC適合性試験は同梱および推奨のケーブル使用に基づきます。別種のケーブルを使用した場合はEMC性能が低下します。

TV周波数帯域を利用するワイヤレス製品に関する規制情報

CEに関する通知

ここに、Shure Incorporatedは、CEマーキングの付いた本製品が欧州連合の要件に準拠していると判断されたことを宣言します。EUの適合宣言書の全文は以下のサイトでご覧いただけます。<https://www.shure.com/en-EU/support/declarations-of-conformity>

UKCAに関する通知

ここに、Shure Incorporatedは、UKCAマーキングの付いた本製品がUKCAの要件に準拠していると判断されたことを宣言します。

UKの適合宣言書の全文は以下のサイトでご覧いただけます。<https://www.shure.com/en-GB/support/declarations-of-conformity>

FCCに関する通知

本機器はテストされFCC規定パート15に従いクラスBデジタル機器に適合しますが、制限があります。これらの制限は、機器を住宅地域において使用する際、有害な電波干渉から機器を適度に保護するためのものです。本機器は電磁波を発生、使用または放射する場合があります。取扱説明書に従って設置して使用しないと、無線通信に有害な妨害を引き起こす可能性があります。また、設置状況に関わらず妨害を引き起こす可能性もあります。本機器によりラジオやテレビの受信に電波干渉が起こるようであれば（これは、機器の電源を一度切ってから入れるとわかります）、次の手段を1つまたは複数用いて電波干渉を防いでください。

- ラジオ/テレビの受信アンテナを別の方向に向けるか、別の場所に移す。
- 本機器とラジオ/テレビ受信機との距離を広げる。
- 本機器とラジオ/テレビの受信機で別の主電源の分岐回路を使用するように、それぞれを別のコンセントに接続する。
- 他の推奨事項については、Shure代理店または熟練したラジオ/TV技術者にお問い合わせください。

本装置はFCC規制第15部に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります：

1. 装置は有害な干渉を起こしてはならない。
2. 装置は、望まない操作を起こす干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

注記：FCC規制では、Shure社によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、この機器を操作する権利が無効になることが規定されています。

責任のある当事者、およびFCCコンプライアンスに関するその他の事項については、次にお問い合わせください：Shure Incorporated, 5800 W. Touhy Avenue, Niles, Illinois 60714-4608 U.S.A. shure.com/contact

本機器は、未管理下の環境においてFCC規則放射線曝露制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF曝露コンプライアンスに対応するように、特定の操作手順に従う必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機の横に設置したり、同時に使用したりすることはできません。

ポータブルデバイスは、米国連邦通信委員会（Federal Communications Commission）で定められた電波曝露要件を満たすように設計されています。これらの要件のSAR制限では、組織1グラムの平均値を1.6W/kgに設定しています。身体または頭部に適切に装着する際の使用における製品認証中にこの規格で報告された最高のSAR値。本機器は、ラジエーターと体/頭までの距離が0 cm以上になるように取り付けて操作してください。

カナダ産業省（IC）に関する注記

このデバイスには、Innovation, Science and Economic Development Canadaのライセンス免除RSS基準に適合しているライセンス免除の送信機/受信機が含まれています。操作は次の2つの条件の対象となります：

1. 装置は干渉を起こしてはならない。
2. 装置は、望まない操作を起こす干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
2. L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

このクラスBデジタル装置はカナダのICES-003に適合します。Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

カナダの無線に関する警告

このデバイスは、保護なし、干渉なしの方針に基づいて動作します。ユーザーが同じTV帯域で動作する他の無線サービスからの保護を求めるには、無線ライセンスが必要です。詳細については、Innovation, Science and Economic Development Canada（イノベーション・科学経済開発省）の文書Client Procedures Circular CPC-2-1-28（カスタマープロシージャサーキュラーの2-1-28）、

Voluntary Licensing of Licence-Exempt Low-Power Radio Apparatus in TV Bands（テレビ帯域で運用される低電力ライセンス免除無線装置の自主的ライセンス）を参照してください。

Ce dispositif fonctionne selon un régime de non-brouillage et de non-protection. Si l'utilisateur devait chercher à obtenir une certaine protection contre d'autres services radio fonctionnant dans les mêmes bandes de télévision, une licence radio serait requise. Pour en savoir plus, veuillez consulter la Circulaire des procédures concernant les clients CPC-2.1.28, Délivrance de licences sur une base volontaire pour les appareils radio de faible puissance exempts de licence et exploités dans les bandes de télévision d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

本機器は、未管理下の環境においてISED規則放射線曝露制限に準拠しています。本機器は、ラジエーターと人体の間の距離が0 cm以上になるように取り付けて操作します。エンドユーザーは、RF曝露コンプライアンスに対応するように、特定の操作手順に従う必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機の横に設置したり、同時に使用したりすることはできません。

ポータブルデバイスは、ISEDで定められた電波曝露要件を満たすように設計されています。これらの要件のSAR制限では、組織1グラムの平均値を1.6W/kgに設定しています。身体または頭部に適切に装着する際の使用における製品認証中にこの規格で報告された最高のSAR値。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISSED établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement peut-être installé et utilisé avec une distance minimale de 0 cm entre le radiateur et votre corps. L'utilisateur final doit suivre les instructions spécifiques pour satisfaire les normes. Cet émetteur ne doit pas être co-implanté ou fonctionner en conjonction avec toute autre antenne ou transmetteur.

Le dispositif portable est conçu pour répondre aux exigences d'exposition aux ondes radio établie par le développement énergétique DURABLE. Ces exigences un SAR limite de 1,6 W/kg en moyenne pour un gramme de tissu. La valeur SAR la plus élevée signalée en vertu de cette norme lors de la certification de produit à utiliser lorsqu'il est correctement porté sur les corps/tête.

RF曝露に関するカナダの詳細情報については、次のウェブサイトも参照してください：<http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html>

ACMAに関する注記

警告：このデバイスは、ACMAクラスライセンスの下で動作しており、動作周波数を含む当該ライセンスのあらゆる条件に適合している必要があります。

ANATELに関する注記

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Para maiores informações, consulte o site da ANATEL – <http://www.anatel.gov.br>.

KCCに関する注記

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음

NBTCに関する注記

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช.

NCCに関する注記

低功率射頻器材技術規範

取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使

用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

614MHz-703MHz: 使用頻段供其他通訊業務使用時，器材應即停止使用

SRRCに関する注記

- (一) 本产品符合“微功率短距离无线电发射设备目录和技术要求”的具体条款和使用场景；
- (二) 不得擅自改变使用场景或使用条件、扩大发射频率范围、加大发射功率（包括额外加装射频功率放大器），不得擅自更改发射天线；
- (三) 不得对其他合法的无线电台（站）产生有害干扰，也不得提出免受有害干扰保护；
- (四) 应当承受辐射射频能量的工业、科学及医疗（ISM）应用设备的干扰或其他合法的无线电台（站）干扰；
- (五) 如对其他合法的无线电台（站）产生有害干扰时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用；
- (六) 在航空器内和依据法律法规、国家有关规定、标准划设的射电天文台、气象雷达站、卫星地球站（含测控、测距、接收、导航站）等军民用无线电台（站）、机场等的电磁环境保护区域内使用微功率设备，应当遵守电磁环境保护及相关行业主管部门的规定。

環境に関する規制情報

廃電気・電子機器指令（WEEE）指令



欧州連合（EU）および英国では、このラベルは、家庭ごみと一緒に廃棄してはならない製品であることを示します。この製品は、回収およびリサイクルを行うために、適切な施設に預ける必要があります。

化学物質の登録、評価、認可に関する指令

REACH（Registration, Evaluation, Authorization of Chemicals）は、欧州連合（EU）および英国（UK）が策定した化学物質規制の枠組みです。Shure製品に含まれる0.1%重量比（w/w）を超える濃度の高懸念物質に関する情報は、要請に応じて提供します。

リサイクルに関する情報

環境に配慮してください。電気製品および梱包材は地域のリサイクリング処理の一部であり、通常のご家庭ゴミと一緒にしてはなりません。

電池に関する規制情報

EUおよび英国の電池指令

欧州連合（EU）および英国では、このラベルは、この製品の電池は個別に回収する必要がある、家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示します。



電池に含まれる物質は健康と環境に悪影響を及ぼす可能性があるため、廃棄する電池をリサイクルして、環境の品質の保護、保全、改善に貢献する必要があります。使用できる回収とリサイクルの方法の詳細については、地域の当局または販売店にお問い合わせください。

認証

FCC ID : DD4SLXD1G58、DD4SLXD1H55、DD4SLXD1J52、DD4SLXD2G58、DD4SLXD2H55、DD4SLXD2J52、DD4SLXD3G58、DD4SLXD3H55、DD4SLXD3J52。 **IC** : 616ASLXD1G58、616A-SLXD1H55、616A-SLXD1J52、616A-SLXD2G58、616A-SLXD2H55、616A-SLXD2J52、616A-SLXD3G58、616A-SLXD3H55、616A-SLXD3J52。

省エネ

外部電源は以下を満たしています：

1. 連邦行政命令集の10 CFR 430 32(w)に規定されている米国省エネ基準。
2. 2019年10月1日付 EU委員会規則（EU）2019/1782：外部電源のエコデザイン要件。
3. オーストラリア標準要件AS/NZS 4665.1:2005およびAS/NZS 4665.2:2005。

本充電器システムの適合：

1. 連邦行政命令集の10 CFR 430 32(z)に規定されている米国省エネ基準
2. カナダNRCan基準：CAN/CSA-C381.2

認証およびコンプライアンス表示

